

ツテ政府ノ借入ト區別セラル然レトモ公信ノ場合ニ於テハ種々ノ方法ヲ用ヒ大ニ之ト異ナル所ノモノナリ

第一 國債ノ期限ハ甚ク長シ或ハ永遠ノ公債即チ債主カ償却ヲ請求セ得ルノ期限ナキモノナリ

第二 政府ハ屢々現ニ借入レシ高ヨリ多クノ高チ償還ス

第三 利子ノ外政府カ債主ニ年金ヲ拂フコトアリ或ハ債主ヲシテ特別ノ利益ヲ得ル闡チ引カレムルコトアリ其他種々ノ方法ヲ用ヒ利子外ノ利益ヲ債主ニ與フ事擧ナカラス

今何故ニ政府ハ永遠ノ負債ヲ起スチ得ルヤチ檢尋スルニ未ダ以テ政府ハ其負債ヲ永遠ニスヘシト云フコトアラスト雖之ヲ永遠ニスルト雖強テ差支ナキノ理由ニアリ

第一一國ハ一箇人ノ如ク數十年ニシテ死亡スルモノニアラス其存在

チ永遠ニ期スルモノナリ固ヨリ國ト雖滅亡ナキチ保シ難シト雖方今社會ノ組織タル往古ノ如ク大國ノ全滅ニ歸スルコト殆ント無ク少ナクトモ數百年ハ其存在ヲ期スルコトヲ得ヘシ

第二一箇人ヨリ取置キシ負債証書ハ之ヲ賣買スルコト能ハズ資本ノ歸リ來ルハ其期滿ノトキナリ公債証書ハ自在ニ賣買スルコトヲ得故ニ政府ノ負債主トナルトキハ有期或ハ永遠ノ者ニシテ期限ノ定メナキモノト雖其資本ヲ要スルトキハ証書ノ爲メニ拂ヒシ高ヨリ或ハ多キ或ハ少ナキ價格ニテ之ヲ賣却シ資本ヲ得ルコトヲ得ヘシ(負債証書ヲ以テ會社ヘ貸付シ者ハ期限中ニ資本ヲ得ルコトヲ得ヘシ此類ノ貸借ハ私信ヨリ公信ニ近シ)

今一步ヲ進テ政府ハ何故ニ永遠ノ公債ヲ募集シ又ハ之ヲナシ得ルヤチ檢尋スルニ大國ノ公債証書ハ甚ク確實ナル者ニシテ且ツ賣買自在



ナルモノナレハ其所持人ニ取テハ甚ダ便利ナルモノニシテ遊金ノ使  
 用ニハ之ニ若ク者ナク政府ニ於テモ此類ノ公債ハ甚ダ便利ナルモノ  
 ナルニ因ルナリ若シ公債ニ其募集ノ年ヨリ十五ヶ年或ハ二十ヶ年  
 目ニ仕拂フモノトセハ此年限ニ當リ政治上財政上ノ困難ナキヲ保セ  
 ス政府ハ其約條ヲ履行スルニ苦シムヘレ然レモ若シ之ヲ履行セサレ  
 ハ其困難益々以テ加ハルハ最モ看易キノ理勢ナリ故ニ不幸ニシテ斯  
 ノ如キコトアルニ遭遇セハ非常ノ高利ニテ更ニ借入レ前約ヲ履ムコ  
 リ他ニ方法ナカルヘシ此不便ヲ避ケンカ爲メニ政府ハ財政裕ニシテ  
 出納上ノ餘裕アルトキ之ヲ拂ヒ戻スト定メ收テ仕拂ノ時期ヲ定メス  
 然レモ政府ニ於テ豫メ其財政ノ都合ニ由テ永遠ノ公債ヲ仕拂ノ權ア  
 ルコトヲ明了ニスルノ方法ヲ設置セスハ高利ノ者ヲ低利ノ者ニ借  
 替ル時ニ際シ債主ニ於テ償却ヲ拒ムノ恐ナキニアラス故ニ永遠ノ公

債ヲ起ストキハ明ニ其公債証書發行ノ日ヨリ三ヶ年若クハ五ヶ年(何  
 年ニテモ)据置三ヶ年若クハ五ヶ年ノ後チハ政府ノ都合ニヨリ何時ニ  
 テモ平價ニテ其幾分(幾分ヲ償却スルトキハ不公平ノ憾ナキ爲メ抽籤  
 ヲ行フ)又ハ其全部ヲ償却スヘシトノ事ヲ公債証書ニ記載シ置シカ成  
 ハ其公債條例ニ此事ヲ編入シ置ケハ債主ハ決シテ其償却ヲ拒ムコト  
 能ハス市場ノ歩合公債証書ノ利子ニリ低落スルトキハ直チニ借替ヲ  
 ナスコトヲ得ヘシ若シ佛國ニ於テ千八百七十一年ノ二十億フランノ  
 國債ヲ起スニ際シ譬ハ千八百七十五年一月一日以後ハ政府ハ何時ニ  
 テモ此公債ノ全部又ハ一部ヲ償却スルノ權ヲ有ストノ明文ヲ其公債  
 証書又ハ其公債條例ニ掲載シ其後ノ三十億フランノ國債募集ノ時  
 モ只少シク其時ヲ延シ千八百七十六年一月一日以降ハ前者ト全様ノ  
 權ヲ有ストノ明文ヲ設ケ置シナラハ千八百七十一年ヨリ三四年ヲ經



テ市場ノ景況借替ノ施行スヘキヲ表セシトキニ之ヲ躊躇スルヲ要ヒ  
 サリレナルヘシ若シ此明文ヲ掲載セサレハ債主償却ヲ拒ムコトアル  
 モ強テ之ヲ償却スルコト能ハス市場ノ景況ニ乗シ財政ヲ調理シ國民  
 ノ負擔ヲ輕フスルコト能ハス強テ之ヲサント欲スレハ債主ニ對シ  
 テ壓制ヲ試ミサルヲ得サルノ嫌アリ此類ノ明文ヲ掲クルハ決シテ忽  
 ニスヘキコトニアラサルナリ  
 右ニ説ク所ノ外尙ホ永遠ノ公債ヲ弁護シ得ルノ理由ナキニアラス勿  
 論之ヲ以テ公債ハ必ス永遠ニスヘシト云フニアラス只其理由ノ存ス  
 ルアルヲ説クニ其之ヲ弁護シ得ルノ理由トハ何ソヤ請フ之ヲ掲出セ  
 ン

第一金銀價格ノ物品勞力ニ對シテ數百年以來下落セシ事及次ノ數十  
 年間ハ其下落スルノ勢アルコト是ナリ數百年以來金銀ノ價格物品

及勞力ニ對シテ下落セシハ實ニ著シキ事跡ニシテ決シテ之ヲ蔽フ  
 能ハサルナリ故ニ此説ハ往時大ニ勢力ヲ有セシモノニシテ方今及  
 次ノ數十年ノ間ハ此説ハ決シテ非常ニ勢力ヲ失ハサルヘシ抑モ此  
 下落ハ米國大洲發見キヤリフォルニヤ及濠斯地利金抗發見近世學  
 術頗ル進歩シ礦山ノ開鑿礦山ノ分拆等其精巧ヲ究メ隨テ金銀ノ生  
 産費ヲ減少シ其供給ヲ増加シ加フルニ海陸運送ノ便ヲ増シ其通用  
 ヲ容易ナラシメ銀行其他財政ニ關係スル會社發達シ信用ノ器具整  
 頓シ大ニ金銀ノ使用ヲ節スルニ由ルナルヘシ故ニ短期ノ公債ハ別  
 ニ是等ノ景況ニ由テ感動セラル、コトナシト雖長期限或ハ永遠ノ  
 公債ニ於テハ之ヲ未來ニ殘スハ現在ニ於テ之ヲ仕拂フヨリ容易ナ  
 ルノ勢アリ(公債ハ金銀ニテ仕拂フモノトス勿論人口大ニ増加シ世  
 界中苟モ人類ノ住居シ得ヘキノ地方ハ數多其住居スル所ト爲ルト



云フ如キ場合ニ至リテハ金銀ノ價格物品若クハ勞力ニ對シテ復増加スヘシト雖是實ニ數百年ノ後ナルヘシ方今ヲ以テ之ヲ論シ後數十年ニ之ヲ推セハ金銀ノ價格ハ物品及勞力ニ對シテ暫ラク下落ノ方ナルヘシ故ニ國債ハ長期限若クハ永遠ノモノ、方或ハ便利アルニ庶幾カラシ乎

大國ニ於テハ學術ノ進歩貯蓄ノ増加等ニテ國民ノ富ノ年々増加スルコト多ク方今佛國人民ハ年々凡ソ三十一億フランノ租稅ヲ拂フト雖是ナルイ第十四年ノ時ニ五億若クハ六億フランヲ拂ヒシニ比スレハ遙ニ輕シト云フ

右ノ理由ヲ以テ見レハ國債ハ絶ヘズ増加スルニアラスンハ未來ニ於テ之ヲ仕拂フハ現在ニ於テ之ヲ仕拂フヨリ容易ナルモノト云フヘシ是等ノ事跡ヲ以テ之ヲ論スルモ急速ニ公債ヲ償却スルハ甚ダ

好マシキ事ニアラス之ヲ急ニスレハ貨幣市場ヲ乱スノミナラス未來ニ於テ爲シ易キコトヲ強テ現在ノ人民コトサシムルノ不便アリ然リト雖之ヲ以テ國債ハ恣ニ之ヲ起シ之ヲ永遠ノ者ニスヘシト云フヘカラス只現在ノモノヲ急劇ニ償却スヘカラスト云フノミ彼歐洲諸國カ其國債ヲ起シタルハ其仕用各々宜シキヲ得シト云フ能ハス大ニ其額ヲ増加セシハ實ニ後世ニ餘殃ヲ殘セシモノト云ハサルヲ得ス豈願サルヘケンヤ

右ニ述フル所ノ理由アルヨリ高利ノ公債ヲ低利ノ者ニ借替ルコトハ決レテ難キニアラス若シ之ヲ實施スルヲ得ハ租稅ヲ減少シ國民ノ生計ヲ容易ナラシムルコトヲ得公信ヲ増加スルコトヲ得ヘシ(公債ノ利子低キハ政府信用ヲ有シ人民富裕ナルノ徵ナレハ公信モ隨テ増加スヘシ)是實ニ賀スヘキコトニアラスヤ不幸ニシテ佛國ノ政治家ハ王



二〇二 政回復ノ世ニ方テモルイ、フヒリツプノ世ニ於テモ方今ノ共和政治ニ於テモ市場ノ景況借替ヲナスヲ得ルヲ表スルモ躊躇シテ或ハ之ヲ決行スルコト能ハス或ハ急ニ機ニ投スルノ英斷ニ乏シク之ヲ施行セシトナキニ非スト雖憚ラシハ之ヲ施行スルニ於テ大ニ決斷ヲ欲ケリ抑モ天下ヲ經倫スルハ一般人民ノ爲メナリ決シテ一隅人民ノ爲メニアラサルナリ假令一級ノ人民或ハ一箇ノ人民ノ損失ヲ醸スト雖苟モ一般人民ヲ利スルコト是ヨリ多キモノアレハ何ソ其施行コ方テ憚ル所アラシヤ之ヲ憚ルモノハ決斷ナキモノナリ況ンヤ此借替ナルモノハ市場ノ景況是ニ熟スルニアラサレハ決行スルヲ得ス然ラハ則チ之ヲ決行スルト雖債主ニ於テ損失アルコトナシ只ニ貨幣市場ノ變動ニモ抱ハラス僥倖ニ非常ノ餘利ヲ收ムルコト能ハサルノミ而シテ此借替ハ又投機心ヲ挫折シ貨幣市場ノ變動ヲ妨クルノ効驗アリ如何トナ

レハ是ニ由ツテ或ハ特別ナル公債證書ノ騰貴ヲ妨クルヲ得レハナリ政治上經濟上斯ノ如キノ便利アリ借替ハ機ニ投シテ宜シク斷行スヘキナリ

政府ニ於テ若シ永遠ノ公債ヲ起スヲ欲セサレハ次ノ四方法ニ據テ之ヲ募集スヘシ

- 第一 一世年金(ライフ、アノニユイチー)
- 第二 有期年金(トルミチヅル、アノニユイチー)
- 第三 有期定額償還(ピリチキカル、ツローウソ)
- 第四 有期全額償還(シモルテニヤス、ペイメント)

三〇二 此四方法ハ互ニ差異ナキニアラスト雖其永遠ニ存在セサルニ至ツテハ即チ一ナリ而シテ此等ノ方法ハ互ニ便不便アリ此四方法中互ニ差異ヲ論スルニ先チ尋常國債ヲ二大別シテ永遠ト有期トノ別アルヲ畧



四〇二 說セシ

方今文明ノ世ニアツテハ往古ノ如ク一大國ノ速ニ滅亡スルカ如キコトナク一大國ハ殆ント永久ニ存スルカ如シト雖小國ハ必ス永久ニ存スルモノト云ヒ難シ其繼續者ニ於テ前政府ノ公債ハ必ス之ヲ負擔スルト云フコトモ亦保スヘカラス殊ニ腕力ヲ以テ取ラレシ國ノ公債ノ如キハ繼續者ニ於テ己ニ抗スル爲メニ出セシ金トシテ之ヲ償却セサルコトアルヘシ而シテ一國ニシテ政治上經濟上財政上ノ困難ニ遭遇セサルコトナク永遠ノ公債ハ債主ニ於テ其仕拂ヲ請求スルノ權利ナキモノナレハ政府ニ於テ其返却ヲ忽ニ其間ニ負債ヲ増加セサルヲ得サルカ如キコト起ルモ計ラレス其借入ノ度毎ニ之ヲ永遠ノ公債トセハ假令金銀ノ價格年々ニ下落スルト國富ノ年々ニ發達スルノ實アルニモセシ大ニ後世ニ煩ヲ殘スコトアルヘシ故ニ明主賢相ハ種々ノ方

五〇二

法ヲ設ケテ國債ノ減少ヲ計ラサルハナシ而シテ其最モ單純ナル方法ハ歲入殘額ヲ以テ時價ノ平價以下ノ公債ハ市場ニ於テ之ヲ買入レ時價ノ平價以上ニアルモノハ抽籤ヲ以テ之ヲ消却スルコト是ナリ(平價ノ者ハ買收抽籤ハ時ノ便利ニ任ス然レハ銀行ヲ用ヒ買收スルヲ便トス)是ヲ以テ之ヲ觀レハ永遠ノ公債ヲ起スハ大ニ慎ムヘキコトナリ國債減却ノ方法ノ如キハ後編ヲ待ツテ大ニ論究スルトコロアラントス今茲ニ一言スヘキハ巨額ノ國債ヲ有スル國ニ於テハ其償還ハ頗ル遠大ノ事業ナレハ政府ニ於テ其針路ヲ確定シ行政立法共ニ先見ノ明ヲ以テ決心不撓且其施行上奇巧ノ策ヲ設ケサレハ行レ難キコトナリ(巨額ノ公債ヲ有スル國ハ事アルノ時ニ際シ之ヲ有セサル國ト比較スレハ財政上ニ於テ弱ヲ示スモノナリ故ニ大平ノトキ其償却ヲ力メサルヘカラス之ヲ爲スハ非常ニ有害アルモノハ格別ナレトモ之無クソハ



成丈ケ舊稅ヲ存シ或ハ新稅ヲ起シ(儉約ハ勿論)歲入殘餘ヲ得ルチ力メ之ヲ以テ國債ヲ償却スヘシ)

右ニ説ク所ヲ以テ見レハ屢々騷擾ノ起ル國ニ於テハ永遠ノ公債ハ甚ク危險ナリ斯ノ如キ國ニ於テハ政府カ公債償却ノ方法ヲ講究スルノ邊ナク幸ニ之ヲ講究スルチ得ルト雖之レヲ實施スル事甚ク困難ナルヘシ故ニ斯ノ如キ國ニ於テハ全ク此類ノ借入ヲ避テ前陳四方法ノ内ノ孰レカヲ實施スルチ良レトス佛國ニ於テ地方債ヲ六十年若ハ七十五年ノ如キ長期限トスルチ例外ノ特許トスルモ蓋シ前記ノ如キ危險ノ之レニ添フコトアルニヨルナルヘシ中央政府ハ他ニ禁スルモノヲ以テ自ラ施行スル前後撞着ノ嫌ナキニアラス然レモ地方政治ノ區劃ハ廢立分合ナキチ得サルモノニシテ中央政府ノ動カサル時ト雖或ハ動クコトアリ國太平無事ナルトキト雖或ハ一揆ノ爲メニ乱ル、コトアリ

リ中央政府ノ動搖スル時ハ素ヨリ共ニ動搖セサルヲ得ス故ニ地方永遠ノ公債ハ不便一層大ナルヘシ中央政府ハ廣ク天下ノ政事ヲ司リ地方政府ハ一分ノコトノミニ當リ他ヲ顧ルニ暇ナキモノナレハ中央政府ハ名譽ノ係ル所廣ク財力亦地方政府ノ企及スヘキニ非ラサレハ強ク理論ヲ以テ此差異アルチ答ムルチ要セサルヘシ地方債ニ此制限アルハ遙ニ之ナキニ勝ルヘキナリ

由是觀之レハ有期公債ハ其償還ヲ期シ政府ヲシテ之ヲ忽ニセサラシムルノ点ニ於テハ永遠ノ者ニ勝ルヤ遠シ然リト雖他ニ劣ル所ナキチ得ス然リ而シテ有期公債ノ四種ハ皆其利益ヲ等フセス四種各々一得一失アリ時ノ景況ニ據テ其或者ヲ撰擇セサルチ得サルナリ請之ヲ弁セン

有期公債ノ第一ノモノ即チ一生年金ハ少ヤノ金ヲ有スル獨身者ニシ



八〇二  
テ子孫ニ財産ヲ残スヲ要セス自身ノ在世中見込アル少年輩ニ十分ノ  
教育ヲ與ヘ又ハ其一年ヲ安樂ニ過サント欲スルモノ等ノ爲メニハ甚  
タ便利ナリ如何トナレハ年金元金ニ利子ヲ加ヘ之ヲ年期ニ割合支拂  
フモノナレハ長期又ハ永遠公債ノ利子ヨリモ其歩合高ケレハナリ此  
類ノ公債ハ往時盛ニ行ハレシト雖方今大ニ減少ノ傾向アリ是レ社會  
ノ進歩ニ從ヒ他ニ少々ノ貯蓄ヲ使用スルノ道開ケシニ由ル然レモ佛  
國政府ノ如キハ方今ニ於テモ尙生命保險ノ業ヲ營ムニヨリ或ル人民  
ヨリ其一生ノ間金ヲ借入ル、コト少カラズ(是レ年金ト制ヲ異ニス  
ト雖政府カ債主ノ一生ヲ期シテ之ヲ償却スルノ義務ヲ有スルモノナレ  
ハ有期公債中ノ一生年金ニ最モ近キモノトシテ是ヲ茲ニ記載ス)英國  
ニ於テモ「ピット」以前ニハ大ニ此法ヲ用ヒタリ中ニ就テ「少イリヤム」第  
三世ハ「百」ポンドノ拂込ニ對シ拂込人ノ生涯若クハ其名指人ノ生涯十

四「ボンド」ヲ拂フコトヲ約束シ「百」ポンドノ公債ヲ起セリ然ルニ當時  
生命保險ノ術未ダ開ケス人民ノ平均壽命ノ長サヲ知ル能ハズ故ニ年  
ノ多少ニ由テ歩合ヲ定ムルコト能ハサリシニ由リ政府ハ非常ニ高キ  
歩合ヲ拂ヒシト云フ(生命保險會社ニテ人民壽命ノ平均年數ヲ計リ得  
シハ第十八紀ノ末アリ)

九〇二  
右ノ外「ト」ナント稱スルモノアリ是ハ全齡ノ人ヲ集メ之ヲシテ全一  
ノ年金ヲ有スル公債證書ヲ買ハシメ其一生涯利子ヲ拂ヒ而シテ死亡  
ニテ全額拂込人ノ中ニ欲員起ル時ハ其人ノ受取ル年金ハ生残り居ル  
人ニ分配スル方法ナリ此法ハ第十七紀ニ於テ伊太利ノ銀行家「ローレ  
ン」ト「ナント」云フ老練頓智ナルモノ、發明ニ係リシト云フ能ク人情ヲ  
察シ得タル奇巧ノ方法ト云フヘシ如何トナレハ人類ニハ慾心アルヲ  
免レス全齡ノ内ニテ我先ツ死去スヘシト思考スルモノナク已レ假令



○一ニ

最後ノ死者ニアラサルモ生存人ノ中ナルヘシト思惟スヘケレハ政府ハ通例ノ方法ニヨルニ幾分カ低利ヲ借入ル、コトヲ得ヘケレハナリ然レハ此方法タル此類ノ公債証書所持人ヲシテ密ニ公債証書上ノ兄弟姉妹ノ死ヲ喜ハシムルノ嫌アレハ道德上之ヲ贊成スルコト能ハサルナリ(衛生上或ハ宜シキ誘導ナラン)

千八百六十九年ルイ第十四世ノ時トナンノ方法ニテ百四十万フランノ年金ヲ期シ公衆ヨリ金員ヲ募集セリ當時出金人チ一歳ヨリ七十歳マテトシ之ヲ十四級ニ分チ三百フランニ對シ三十フランノ年金ヲ付セリ當時ノトナンハ十分ニ成效セス政府ニ於テハ一級ヨリ十萬フランヲ得サルヲ期セシニ稍クニシテ二万五千フランヲ超過セザリシ千六百九十六年第二ノトナンヲ試ミタリ其方法ハ第一ノモノト違フコトナク只々第十五級即チ七十歳ヨリ七十五年マテノモノチ

一一ニ

以テ一級トセシノミ千七百二十六年ニ至リ第一ノ第三級第二ノ第四級ノモノ殆ント死絶ヘ該二級中巴里ノ外科醫師ノ寡婦一人ノミ生存シ初メ第一第二ノトナンニ三百フラン宛チ拂込ミ末年ニ至リ七万三千五百フランノ年金ヲ受取リシト云フ該婦ハ九十六歳ニテ死セリ

英國ニ於テモ此方法ヲ用ヒテ公債ヲ募集セシ前後三回ナリ第一ノモノハ千六百九十二年ウイリヤム三世ノ時ニ起セシモノニトナンノ法ニヨリ百万ポンドノ金員ヲ募集セント試ミタリ其方法タル初メ七年間ハ百ポンドニ對シ十ポンドノ年金ヲ與ヘ七年ノ後ハ七ポンドノ年金ヲ約シ債主七人ニナル迄ハ死亡人ノ受取ルヘキモノチ生存人ニ配當スルコト、セリ此募集ニハ應募者甚少ナク政府僅ニ十萬八千ポンドヲ得七年ノ後ハ年金ノ高七千五百六十七ポンドトナレリ當時ノトナンハ甚タ鹿粗ナルモノニシテ年齢ニヨリ級ヲ分ツコトナ



二シ故ニ幼年者ノ數多カリシハ最モ然テサルヲ得サル事ナリ今實際ノ  
 二 年齡ヲ見ル左ノ如シ

千六百九十二年「トンチン」法公債ニ出金セシ人員ノ  
 年齡表

年 齡	男	女	合 計
六年未滿ノ者	一七八	一一三	二九一
六年ヨリ十年マテノ者	一一八	一一八	二九六
十一年ヨリ十五年マテノ者	一一九	九六	二二五
十六年ヨリ廿年マテノ者	四九	三九	八八
廿一年ヨリ廿五年マテノ者	三五	一九	五四
廿六年ヨリ卅年マテノ者	一六	一四	三〇

卅一年ヨリ四十年マテノ者	一六	六	二二
四十一年ヨリ五十年マテノ者	三	三	六
通 計	五九四	四〇八	一〇〇二

當時募集ニ應セシモノ、内男子ノ最高齡ハ四十一ニシテ女子ハ五十  
 一ナリ以テ女子ノ高齡ヲ期スルヲ証スルコ足レリ此「トンチン」千七百  
 八十三年七月五日ヲ以テ滿期トナレリ其最後ノ年金受取人ハ一婦人  
 ニシテ九十八ノ高齡ヲ得タリ實ニ英國政府ノ各種ノ年金ヲ得ルモノ  
 千八百二十九年迄ニ二万二千三百四十二人ノ中彼婦人ハ最高ノ年齡  
 ヲ得シモノナリト云フ

二 第二ノ「トンチン」ハ千七百六十六年ニ於テ施行セシ所ノモノニシテ百  
 一 五十万「ポンド」ヲ募集セント試ミタリ當時ノ方法最モ其當ヲ得ス彼等



一 先ツ三分ノ利子ヲ約シ當圖一本ヲ置キ之ニ當リシモノハ滿期迄年々  
 九千「ポンド」ノ年金ヲ得ヘキモノトシ債主ヲ數級ニ分テ各級得ル所ノ  
 年金ヲ千五百「ポンド」トセリ然レトモ是ニ應スルモノ甚ク少ク僅ニ  
 一万八千「ポンド」ヲ券集スルユトテ得千八百四十九年ニ至リ此トシテ  
 ンハ全ク消滅セリ英國ニ於テ行ハレタル「トンチン」ノ第三ノモノハ千  
 七百八十九年ニ施行セシモノナリ當時「トンチン」ノ法ヲ以テ一口百「ポ  
 ンド」五「シリング」トシ百万二千五百「ポンド」ヲ借入ントシ債主ヲ其年齡  
 ニ從ヒ六級ニ分テ各級ノ中ニテ生存セシ人ノ受取ルヘキ年金千「ポ  
 ンド」トナル迄先死者ノ受取ルヘキ分ヲ生存者ニ配當セリ年齡ニ從ヒ年  
 金ノ歩合左ノ如シ

年 齡 百磅五志ノ株金ニ對シ給與スル年俸ノ高

二十年未滿ノ者					
二十年ヨリ二十九年マテノ者	四	四	四	四	四
三十年ヨリ三十九年マテノ者	四	四	八	五	三
四十年ヨリ四十九年マテノ者	四	四	一三	一	一
五十年ヨリ五十九年マテノ者	五	五	一	一	一
六十年以上ノ者	五	五	一	一	一
					志
					志

一 此「トンチン」ヲ以テ英國政府ハ百万二千四百四十「ポンド」ノ拂込ノ像約サ  
 レシト雖債主ニ於テ其約束ヲ履行スルコト能ハス實際頗ル其高ヲ減  
 少セリ由是視之ハ英佛ニ於テ「トンチン」ノ法ハ功ヲ奏スルコト能ハサ  
 二 リレ其他愛蘭土ニ於テモ千七百七十三年全七十五年全七十八年ニト  
 五 ンチン」ノ方法ヲ施行セリ彼國ニ於テ隨分成功ヲ告ケタリ(尙ホ委シク



六二 此等ノコトヲ見ント欲スル者ハ千六百八十八年以來ノ歳入出總計ヲ  
見ルヘシ

「トナン」ノ法タル奇巧ハ則チ奇巧ナリト雖右等ノ例ヲ以テ之ヲ見レ  
ハ此法ヲ以テ巨額ノ國債ヲ起スコトヲ得ス且ツ取扱上稍々繞密ニ涉  
リ費用隨テ増加スヘケレハ進テ取ルヘキ程ノ良法ニアラサルナリト  
ソナン法ノ得失凡ソ斯ノ如シ是ヨリ一生年金ノ事ニ論及セシ  
往時一生年金ハ通例永遠公債ノ附屬者トシテ之ヲ以テ永遠公債ノ利  
子ヲ補充スルモノトセリ然レニ第十九紀ノ初メヨリ英國政府ハ永遠  
ノ公債ヲ減シテ一生年金ニ借替ルノ便利ナルヲ發見シ千八百八年當  
時ノ大藏卿ペルシウナル氏初メテ此說ヲ主張シ幸ニシテ國會ノ贊成  
ヲ得當年ノ減債委員ニ次ノ規則ニ隨ヒ永遠ノ公債ヲ一生年金ニ組替  
ルノ權利ヲ與ヘタリ

第一組替ニ應スル者ハ三十五年以上タルヘシ

第二一回ニ於テ組替ヲ爲シ得ル高ハ永遠公債ノ額面百「ポンド」ヲ降ル  
コトヲ得ス

第三一人ノ組替高ハ千「ポンド」ノ年金二人一所ニ組替ル年金ハ千五百  
「ポンド」ヲ超過スヘカラス(是ハ投機ヲ妨ク爲メナルヘシ)

第四組替ヲ得シ債主ノ死亡ニ由テ國債償還ノ高ニ減少ヲ來セシ丈ノ  
高ハ永遠公債証書ノ買入レニ充ツヘシ

千八百二十八年ニ至ル迄ハ此方法ヲ施行シ同時長期限ノ年金ヲ一生  
年金ニ組替タリ斯ノ如ク一生年金ヲ増加セシ故ニ英國公債中此類ノ  
公債尙ホ少ナカラス千八百二十八年一月五日ノ勘定ニ據レハ甫テ組  
替ヲ行ヒシヨリ當時ニ至ルマテ永遠公債ノ斯ノ如クシテ組替ラレヌ  
ル元高千四十七万四千七百二十二「ポンド」ニシテ利子ハ三十一万八千  
七一二







千八百八十八年	千八百八十九年	千八百九十年	千八百九十一年	千八百九十二年	千八百九十三年	千八百九十四年	千八百九十五年
七月一日	一月五日	一月五日	一月五日	一月五日	一月五日	一月五日	一月五日
三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇
三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇
三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇
三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇
三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇
三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇
三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇
三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇〇

右ノ表ニ據テ見レハ此組替ノ業ハ決シテ僅少ノ事ニ非サルナリ其永遠公債ノ元金ニ於テ減少スルモノ實ニ六千四百萬三千八百八十九ポンドノ巨額ニ達シ利子ニテ減少スルモノ二百万七千六百四十八ポンドナリ之ニ對シテ一生年金ヲ與ヘシモノ五百二十七萬八千八百七十七ポンドナリト雖其内滿期或ハ不請求ノモノ千八百六十九年迄既ニ四百二十五萬七千八百七十七ポンドニシテ該年政府ノ仕拂フヘキ一生年金ハ僅ニ一百二萬二千八百八十ポンドナリ故ニ英國政府ハ既ニ年々國債ニ對スルノ費用ヲ此方法ヲ以テ減少スルコトヲ得タリ(英國國會出版千

六百八十八年以來ノ歲出入總計ヲ見ルヘシ)英國ニ於テ組替ノ行ル、ヤ千八百九一年一月五日以來年々由テ多少ノ差アリシト雖連續トシテ絶ヘス近世財政ノ一大事件ト云テ紡ナカルヘシ而シテ其額最少カリシハ千八百九十二年ニシテ僅ニ二九〇、七一五「ポンド」ナリシト雖千八百三十五年ニハ六、五〇〇、〇〇〇「ポンド」ノ巨額ニ達シ是ヲ最大ノ額トス千八百五十一年ヨリ全六十九年マテハ六十万ヨリ八十五萬「ポンド」位ナリシ實ニ此方法ハ一時年金ト國債利子ノ差程國費ヲ増加スルノ實アリト雖其拂込高ヲ以テ永遠或ハ長期限ノ公債ヲ償却シ得ルヲ以テ國債償還ノ爲メニ要スルカ如キ巨額ノ金額ヲ一時ニ(元金ヲ拂ヘバナリ)要スルコトナク年々少々宛ノ支出増加ニテ巨額ノ公債ヲ減少シ得ルノ便アレハ(組替ヲ請求スル者ハ自ラ之ヲ好ムモノナリ)新ニ一生年金ヲ得ント欲シ政府ヘ金員ヲ差出ス者モ之ヲ



好ムモノナレハ強テ出サシムルモノニ非ス英國ノ財政家殊ニグラン  
 ドストーソン氏ノ如キハ大ニ之ヲ實施セリ以上陳述スル所ノ者ヲ見レ  
 ハ一生涯年金ニ四種アリ

第一直接ニ一生ノ年金ヲ約束シ金員ヲ拂ヒ込マヌルコト

第二屢々英國ニテ施行セシ如ク低利ニテ永遠公債ヲ起レ債主ノ損失  
 ナ償補スル爲メニ一生涯年金ヲ與フコト

第三「トナン」ノ方法ニ據リ一生涯年金ヲ約スルコト

第四國債減少ノ爲メニ永遠公債ヲ一生涯年金ニ組替ルコト

此四ノ者ノ内初ノ三者ハ方今殆ト之ヲ行フ者ナレ然ト雖第四ノ者ハ  
 減債ノ爲メ頗ル便利ナル者ナレハ英國ノ如キハ盛ニ之ヲ施行ス其他  
 「トナン」法ノ如キハ成切セシコト甚少ナク佛國等ノ經歷セシ所ハ己  
 ニ之ヲ陳述セリ而シテ佛國ニ於テハ二人三人若クハ四人連名ニテ一

生涯年金ヲ許可シ殊ニ其年齢ニ制限ヲ置サリシニ由リ千七百八十九年  
 以前ニ約セシ一生涯年金ニシテ今ニ仕拂未済ナルモノアリ千八百六十  
 七年ノ豫算表ニハ此類ノ一生涯年金二八三、〇〇〇フラン千八百七十、五  
 年ニハ一七〇、六六二フラン千八百七十七年ニハ一三七、〇一三フラン  
 ナ見込メリ然レモ餘リ年數ヲ經タル者ナルニ由リ千八百八十五年ヲ  
 以テ全ク仕拂濟トスヘシト定メタリ其他佛國政府ハ千八百五十二年  
 以來老后貯蓄ノ法ヲ設ケ老后ニ至リ生涯年金ヲ受ル爲メニ金員ヲ拂  
 込マシメ之ヲ以テ永遠ノ公債証書ヲ買戻ス事ヲ力メリ千八百七十七  
 年ノ豫算委員ノ報告ヲ見ルニ千八百五十二年即チ老后貯蓄法開設ノ  
 年ヨリ千八百七十五年マテ該法ノ實況左ノ如シ

永遠公債利子ノ消 減セシ高	仕拂ヲ約セシ生涯 年金ノ高	千八百七十五年々々 末ニ到仕拂濟ニナ リタル生涯年金高	仕拂フヘキ生涯年 金高
------------------	------------------	-----------------------------------	----------------



	四、七八八、七七二 <sup>佛</sup>		
	一〇、九四八、三〇七 <sup>佛</sup>		
	三、三三三、八〇四 <sup>佛</sup>		
	七、六一五、五〇三 <sup>佛</sup>		

由是觀之ハ佛國ノ此方法ヲ行ヒシ以來二十年ヲ經シト雖未タ之ニ據  
 テ公債ノ費用ヲ減少スル事能ハス却テ之ヲ増加セリ千八百七十九年  
 當時ノ佛國大藏卿レナンゼイ氏ノ報告書ニ據レハ此老后貯蓄ハ政府  
 ノ歲計上ニハ損失ヲ免レヌ當時四分ニテ政府ハ容易ニ借入ル、コト  
 ヲ得シニ拂込金ニ對テ高キ割合ノ年金ヲ拂フ云々ノ語アリ總テ佛國  
 政府ハ未タ國債ノ取拂ヲ了解セサル乎斯ノ如ク市場ノ實況低利ニ借  
 替ル事ヲ得ルノ勢ナルコト之ヲ爲スニ躊躇スルハ債主ニ厚ク被稅者ニ  
 薄キノ譏ナキヲ得ス元來事ヲ爲スニ臨機應變ノ術ニ乏シク勇斷決行  
 ヲ缺クハ大ニ財政ノ忌ム所ナリ佛國政府果シテ之ヲ知ラサルヤ乎方

今ノ景況ニテハ年々滿期トナル者、年金支出ノ方一倍ヲ増スノ勢  
 ナリ然リト雖二三十年ノ后ニハ滿期ノ高必ス年金ヲ超過スヘシ(若シ  
 之ヲ繼續スレハ)方今ノ如ク拂込高多ケレハ隨テ永遠公債ノ償却モ、速  
 ナルヘシ前表ニ掲出スル如ク老后貯蓄ノ法ヲ設シヨリ千八百七十五  
 年マテ永遠公債ノ利子ヲ減セシ事既ニ四百七十八万八千七百七十二  
 「フラン」内四分半ニテ百六十一万九千四百四十七「フラン」四分ニテ二十  
 六万六千八百二十七「フラン」三分ニテ二百九十万二千四百九十八「フラ  
 ン」世ニ公債ハ利子ノ高キ者ヨリ買戻スヘシトノ説アレハ之レノミテ  
 標準トスヘカラス市場ノ價格ト利子ノ高低ニテ一番割合ニキ者ヨリ  
 買戻ヲ始ムヘシ(其期限長クシテ價格安キ者ハ最ヨシ)其元金ヲ減セシ  
 コト一億四千万「フラン」ナリ第十九紀ヲ終ラハ此法ニ據テ償却シ得ル  
 高ハ五六億「フラン」ニ達スヘシ斯ノ如キノ法ハ功ヲ永遠ニ期スヘキモ



ノニシテ急ニ其功ヲ望ム能ハサルナリ  
 一 生年金ノ事ハ既ニ之ヲ略陳セリ故ニ今一步ヲ進メテ有期年金ノ事  
 ナ論究セシメ有期年金ハ英國ニ於テ最行ハレシモノニシテ該國ニ於テ  
 其期限九十九年ヲ超過セシコトナシ然リト雖理ニ於テ是ヨリ長ク期  
 限ヲ定メ能ハスト云フコトナカルヘシ元來年金ハ元利ヲ區別シテ支  
 拂ハス之ヲ年賦ニ割合支拂フ者ナレハ其歩合ハ通例ノ國債ノ利子ニ  
 リ多カラサルヲ得ス而シテ期限ノ長短ニヨリ歩合ニ差違ナキヲ得ス  
 然レハ此類ノ年金ハ往時英國ニ於テハ單ニ用ヒラレスシテ永遠公債  
 ニ附屬シ其利子ノ低キヲ償補スル爲メニ用ヒラレシヲアル故ニ此場  
 合ニ於テハ歩合高カラス有期年金ハ初メ之ヲ得シ者ハ存亡ニ抱ハラ  
 ス其年期ヲ定ムル者ナレハ賣買授受ハ固ヨリ自由ナリ而シテ期滿ル  
 ト雖元金ノ償却ヲ得ス年々受取ル所ノ歩合ヲ以テ元金ノ償却ト利子

ノ支拂ヲ得ルヲ目的トスル者ナリ(一)生年金ハ初メ金ヲ出シテ之ヲ得  
 ルノ權理ヲ得シ者ノ生涯ヲ期スルモノナレハ賣買授受スルヲ許サズ  
 長期年金ハ英國ニ於テ盛ニ行ハレシモノナリ英國國會ノ出版ニ係ル  
 千六百八十八年以來ノ歲出入ノ總計表(第二卷二百九十九枚)ヲ見ニ千  
 六百九十三年ヨリ千八百六十九年ニ至ルマテノ長期限年金ノ高ヲ揭  
 載ス此統計ニ就テ見ルニ此期ノ初ノ部分ハ長期限年金ハ永遠公債ノ  
 利子ヨリ多カリシ即チ千七百年ニ於テハ永遠公債ノ利子ハ僅ニ二十  
 六万[ポンド]ニシテ長期年金(一生年金)込トハ三十万八千四百七[ポ  
 ンド]ニ達セリ千七百十一年ニハ永遠公債ノ利子六十七万八千二百四[ポ  
 ンド]ニ増加シ長期限年金ハ九十一万二千五百九十六[ポンド]ニ増加セ  
 リ該年ヨリ永遠公債ノ募集大ニ増加シ長期年金モ共ニ行レタリ千八  
 百六十九年ニハ長期年金(一生年金)込トハ四百一萬八千六百十六[ポ  
 ンド]ニ



シテ永遠公債ノ利子ハ二千二百四十二万五千六百四十二「ポンド」ナリ  
由是觀之ハ英國ノ公債ニ於テ長期限年金ハ少カラサル部分ヲ占ル者  
ナリト云ツベシ

英國ニ於テ此等ノ長期限年金ノ發達ハ實ニ奇々怪々ナル者ニシテ實  
ニ兒戲ニ過キサルモノアリ今「ハミルトン」氏ノ英國國債論ニ就テ千七  
百五十五年ヨリ全八十五年ニ至ルマテノ英國國債募集手續ノ歴史ヲ  
陳述セン

千七百五十七年ノ三百万「ポンド」ノ國債ハ三分利付トシ平價ヲ以テ証  
書ヲ賣出シ應募者ニハ生涯百「ポンド」ニ付壹「ポンド」ニシリング「六」ペ  
ス「ノ」年金ヲ與フルモノトセリ（此方法ハ債主ニ公債証書ヲ賣却スルノ  
權ヲ與フルニ便ナラス故ニ甚不便ナルモノナリ若シ之ヲ與フレハ年  
金丈ハ初メ募集ニ応セシモノニ與ヘ利子丈ハ現所有主ニ拂ハサルヲ

得ス其錯雜ナル思フヘシ）

千七百六十一年ノ千四百四十万「ポンド」ハ三分利付トシ平價ニテ賣出シ  
九十九年ノ間百「ポンド」ニ付一「ポンド」ニシリング「六」ペンス「ノ」年金ヲ約  
セリ

千七百六十二年ノ千二百万「ポンド」ハ四分利付ニテ平價ヲ以テ賣出シ  
十九年ノ間ハ買戻ナサス其ヨリハ三分ニ減少シ九十八年ノ間百「ポ  
ンド」ニ對シ一「ポンド」ノ年金ヲ約セリ

千七百七十七年ノ六百万「ポンド」ハ四分利付トシ平價ヲ以テ之ヲ募集  
シ十年ノ間百「ポンド」ニ付十「シリング」ノ年金ヲ約セリ

千七百七十八年ノ六百万「ポンド」ハ三分利付トシ平價ヲ以テ之ヲ募  
集シ債主ノ望ニヨリ三十年若クハ一生涯年金十二「シリング」十「ペンス」百

「ポンド」ニ對シテ興ヘタリ



千七百八十年ノ千二百万[ポンド]ハ四分利付トシ平價ヲ以テ之ヲ募集  
シ八十年ノ間百[ポンド]ニ對シテ二[ポンド]十六[シリング]三[ペンス]ノ年  
金ヲ約セリ

是レ實ニ英國カ此等ノ公債ヲ起セシノ方法ニシテ其目的タル平價ヲ  
以テ公債ヲ起シ后世ニ永遠公債ノ重キ利子ヲ殘サ、ルニアリ一方ニ  
リ論スレハ此方法ハ利益アルカ如クナレトモ取扱頗ル繞密ニ涉リ無  
ノ手數ヲ尽サ、ルヲ得ス若シ公債ヲ平價ニシ公債ノ費用ヲ后世ニ輕  
モント欲セハ四分半或ハ五分若クハ六分ニテ借入レバ四五年若クハ  
十四五年ノ后之ヲ低利ノ者ト借替ルコト難ニ非サルヘシ策茲ニ出ス  
徒ラニ繞密ナル方法ヲ採用セシハ愚モ亦甚シキ者ト云ツヘシ然リト  
雖英國ニテハ此方法盛ニ行レ千八百五十五年[クリエヤ]戰爭ノ爲メニ  
起セシ公債千六百万[ポンド]モ三分利付トシ平價ヲ以テ之ヲ募集シ三

十年間百[ポンド]ニ付十四[シリング]六[ペンス]ノ年金ヲ約束セリ是實ニ  
第十八紀ニ於テ施行セシ精心ヲ繼續セシ者ナリ若シ當時三分半ニテ  
募集スレハ平價ニテ證書ヲ賣出スコトヲ得シナルヘシ而シテ后市場  
ノ景況ニ因リ低利ニ借替ル事又行難キニ非サルヘシ然レモ勢ヲ察シ  
變ニ應レ一箇ノ方法ニ固着セサルハ財政上最力ムヘキコトナレハ若  
シ年金添附ノ法ニ借替ヨリ速ニ國債ノ利子ヲ減少シ得ルノ確証アラ  
ハ之ヲ行フ決レテ妨ナカルヘシ然レモ通例年金ヲ添付スレハ短期ノ  
年金ト雖借入ノ后四五年ニシテ市場ノ歩合減少スルニ乘シ借替ヲナ  
スヲ得ス長期ノ者ハ期限中商業浮沈ヲ免レス期限中ニ借替ヲナシ得  
ルコトアレモ之ヲナス能ハサルヘシ故ニ高利付平價募集ノ方法ハ低  
利付年金添付法ニ勝ナルヲ遠シテ第一ノ者ハ取扱方法ニ於テモ  
第二ノ者ヨリ遙ニ簡便シテ實收額ト額面高ト均一ナルノ利アリ



長期及一生年金ノ法ハ諸國財政ノ實況ニ據リ之ヲ見ルニ重ニ永遠公債ノ付屬トシテ用ヒラレシト雖單特ニ之ヲ用ユルト雖決シテ害アルコトナク或ハ之ヨリシテ利益ノ生スル所アラシク論者或ハ云フ九十九年ハ暫時ノ間ナレハ之ヲ以テ永ク子孫ニ其財產ヲ遺傳スルコト能ハス故ニ長期限年金ヲ以テ政府金員ヲ借入ルレハ其歩合ヲ高フセサルヲ得サルヘシ故ニ永遠公債ニテ借入ル、ヨリ利益アルコトナカルヘシ年金ハ滿期ノ際元金ノ仕拂ヲ免ルト雖其割合ハ必ス永遠公債ノ利子ヨリ高シ故ニ其ヨリモ遙ニ低キ歩合ニテ永遠公債ヨリ借入レ后元金ヲ償却スルニ大程全シ位ノコトトナルヘシト夫或ハ然ラシ然レ九十九年間ハ之ヲ一國ヲ以テ論スレハ實ニ暫時ナレトモ一人ヲ以テ之ヲ論スレハ頗ル長キ時間ニテ之ヲ三代ト云テ妨ナシ故ニ三代ノ間永遠公債ノ利子ヨリ高キ歩合ニテ年金ヲ得ルノ利アレハ假令元金

ハ償却セラスト雖永遠公債ノ利子ヨリモ少々高キ歩合ニテ長期限年金ノ爲メニ金員ヲ拂ヒ込ム者蓋シ尠ナカラサルヘシ故ニ巨額ノ金員ハ此法ヲ以テ之ヲ募集スルヲ得サルモ小額ノ金高ハ此法ニ據テ募集スレハ政府ニ於テ大ニ得ル所アルベシ而シテ長期限年金ハ必スシモ九十九年ニ限ルニ非ラス百五十年若クハ二百年トシテモ敢テ妨ナカルヘシ果シテ然ラハ債主ニ於テ百五十年若クハ二百年后ノ後胤ヲ思フ事其次ハ世ニ來ル子孫ヲ思フカ如ク切ナラス年金ノ歩合モ永遠公債ノ利子ト殆ト差違ナキヲ得ヘシ千八百七十九年英國ハ方今尙ウイリヤム第三世ノ時即チ第十七紀ノ末ニ起セシ公債ノ利子ヲ拂ヒ佛國ニ於テハ「サーレイ」ノ時「チャールス」第五世カ千三百七十五年ニ於テ起セシ公債ノ利子ヲ拂ヒシヲ見レハ百五十年若クハ二百年ノ長期限ノ年金ハ決シテ利益ナレト云ヒ難シ若シ佛國千三百七十五年ニ當リ千



四三二

六百年迄若クハ千七百年迄債主ノ子孫ニ利子ヲ拂フヘシト云フナラハ彼等モ決シテ永久ニ仕拂ヲ受度シトハ云ハサリシナルヘシ

佛國政府ニ於テモ有期年金ノ制アリ而シテ其類決シテ小少ニ非サルナリ千八百七十六年一月一日ニハ有期年金ノ名目ヲ帶ル國債ノ金高九十四億六千五百万フラン[全年ノ豫算ニ掲載スル年金ノ高三億九百万フラン]千八百八十一年ニハ三億五千八百五万フランニ達シ此年ヨリハ年々減少スルノ方法ナリ佛國ニ於テ年金ト稱スル者ハ英國ノ年金ト大ニ異ナル者アリ其内ニハ政府カ國立銀行瀛車會社市邑商務局ヘ仕拂フヘキ年金有期定期仕拂ノ公債大藏省証券ノ仕拂ヲ含有ス實ニ一種特別ノ者ニシテ英國ノ有期年金ト大ニ異ナル所ノ者ナリ「レナ」ン、ゼイ「氏」ハ是等ノ負債ヲ永遠ノ者ニ塊集スルノ意アリト云フ若シ他ニ巨額ノ永遠公債ヲ有セザレハ塊集ハ公債取扱ヲ簡易ニスルノ利アリ

五三二

レハ之ヲ行フモ可ナリト雖佛國ノ如ク已ニ巨額ノ永遠公債ヲ有スル國ニ於テハ之ヲ増加スルハ決シテ策ノ得タル者ニ非ス斯ノ如キ雜種ノ公債ハ之ヲ英國流ノ年金ニ組替ル方法却テ便利ナラン年金ノ種類性質利害凡ソ斯ノ如シ是ヨリ一步ヲ進メテ有期定期仕拂及有期全額仕拂ニ付テ其利害得失等ヲ論究セン

有期定期仕拂有期全額仕拂ノ方法ハ各國ニ於テ大ニ施行スル所ノモノニシテ互ニ一得一失アリ然レモ其元金ハ應募者又ハ其繼續者ニ歸ルニ至テハ兩法ニ於テ一ナリ

有期定期仕拂ハ政府ヲシテ明ニ仕拂ノ義務ヲ負擔セシメ其仕拂高ハ年々非常ノ差違アルコトナク又非常ノ巨額ニ登ラス容易ニ年々ノ豫算ニ之ヲ組込事ヲ得レハ甚便利ナル者ノ如シ今如何ニシテ此法ヲ實施スル哉ヲ見ルニ先ツ第一ニ十五年二十年三十年五十年若クハ九十



六三二

九年(九十九年)ヲ以テ通例最長キモノトスヲ以テ悉皆拂尽スモノト定  
 メ年々何程ツ、手仕拂フ事ヲ定メ仕拂表ヲ制ス而シテ其仕拂ハ通例  
 成シ崩シノ方ニ據リ初年ノ仕拂ハ最少額ニシテ第二年ヨリハ前年ノ  
 償還ニ由テ減少シタル利子ノ仕拂丈ヲ元金ノ償却ニ加算シ累年此法  
 ナ用ユ故ニ年々之カ爲ニ別ニ増額ヲ要スルコトナク自然ニ償却高ヲ増  
 加スルヲ得是ヲ以テ有期定額仕拂ノ法ハ有期全額仕拂ヒノ如ク一時  
 ニ全額ノ仕拂ヒヲ要スル者ニ勝レリト云ツヘシ而シテ靜謐ナル國ニテ  
 此方法ニ據テ仕拂ヲ豫期シ能フ場合ニ於テハ最トモ適當ノ法ナリ然  
 リト雖國ニ盛衰治乱アルハ數ノ免レサル所ニシテ三四十年若クハ四  
 五十年ノ間大平無事ナルハ決シテ期レ能フ所ニ非ラス其間政治上經  
 濟上ノ波瀾起ルニ際スレハ大ニ其年ノ仕拂ニ苦ムヘシ然リト雖斯ノ  
 如キ時ハ政府ノ信用大ニ動搖スルノ時ナレハ之ヲ仕拂ハサレハ益々

七三二

以テ其信用ヲ害ナフヘシ故ニカテ之ヲ拂ハサルヲ得ス然ハ即チ政府  
 斯ノ如キ時ニ際シ前約ヲ履行セントスレハ高利ニテ更ニ金員ヲ借入  
 ルノ極ニ至ルコトナキヲ保シ難シ是此方法ノ一大不便ナリ而シテ又  
 此方法ハ永遠借入ノ如ク低利ニ借替ル事ヲ期セサルモノナレハ市場  
 ノ景況借替ヲナレ得ルニ至ルモ或ハ之ヲ施行スルニ難カルヘシ然レ  
 此此事ハ別ニ方法ヲ設クレハ決シテ爲シ得サルコトニ非サルナリ千  
 八百七十年ノ「モーガン」國債ヲ千八百七十五年ニ低利ノ者ニ借替シ例  
 「マーセイ」府ノ發行セシ五分利付ノ公債ヲ千八百七十七年ニ低利ニ  
 借替シ例モアレハ(此等ハ皆有期仕拂ノ者)此類ノ公債ト雖非常ニ低價  
 ニテ發行セサレハ借替ヲナスコト亦難キニ非ス有期定額仕拂ハ財政  
 整頓セス信用薄キ國ニ貸付ル時ニハ他ノ方法ヨリモ便ナリ如何トナ  
 レハ此法ハ土耳其埃及等ノ如キ國ニシテ后世ノ景況甚ク危シト雖十



年十五年位ハ維持スルヲ得ヘントノ目途ヲ以テ貸付年々ノ仕拂ハ條約ニ據テ之ヲ強ルヲ得レハナリ故ニ該二國ノ外債ハ重ニ此方法ニ據ルモノナリ由是觀之ハ有期定期仕拂方法ハ政府ヲシテ其仕拂ヲ力メシムルノ便アリト雖歲計ノ寬急ヲ問ハス必ス仕拂ハサルヲ得サルノ不便アリ加ルニ前約ヲ履行スル爲メニ新ニ高利ヲ以テ國債ヲ起サ、ルヲ得サルノ場合ナキヲ保セス且ツ市場ノ景況ニ由リ借替ヲナシ國費ヲ減スルノ便利ナケレハ活潑ノ財政ヲ行フ能ハス殊ニ期限五十六年ノ長ニ涉ルトキハ甚不便ナルモノナリ現ニ日耳曼諸州ノ如キ五分ニテ借入シ金員ヲ市場ノ歩合三分半トナリシト雖前約ノ爲メニ今ニ五分ヲ拂ハサルヲ得サル者アリト云フ「バアデン州」ニ於テ千八百四十五年三分一九ヲ以テ公債ヲ起スヲ得レヨ（平價ナルヘシ）其以前之ヨリ高キ歩合ニテ借入シ公債ノ利子ヲ今ニ仕拂フト云フ若シ別ニ條約ナケ

レハ有期定期仕拂ニ於テハ亦之ヲ如何トモスル能ハサルヘシ（幸ニシテ債主ニ愛國心盛ニシテ借替ヲ承諾スレハ格別）然リト雖當初公債ヲ起スニ當リ何ケ年ノ后（譬ハ五ケ年）市場ノ景況借替ヲナスヲ得ルニ至レハ政府之ヲ施行スルヲ得ヘントノ約束アレハ之ヲ行フ決シテ難ニ非サルヘシ請今一步ヲ進テ佛國公債ニ於テ如何ニ借替ヲ行ヒシヤヲ陳述セン

佛國ノ千八百七十年ノ役ニ敗衄スルヤ普國へ償金ヲ仕拂フ爲メニ五十億フランノ公債ヲ起セリ當時著名ナル「バートロコ」氏有期限定期仕拂ノ方法ヲ以テ此巨額ノ金員ヲ募集スルノ計畫ヲナセリ若シ遠期ノ公債ニテ此巨額ヲ募集スレハ九十九年ヲ經テ之ヲ償却シ尽スヲ得ヘシ然ルニ若シ永遠公債ノ法ニ從ハ後大ニ利子ヲ減少スル此事ヲ得ヘシ（一分或ハ二分ノ減少ハ彼等殆ント之ヲ期セリ）故ニ此二者ハ各一



○四二

利アリテ其撰擇ノ間躊躇ナキヲ得サルナリ  
 有期定額仕拂ノ公債ハ大ニ公衆ノ需要ニ適合スルノ勢アリ如何トナ  
 レハ此ノ公債証書ハ通例遙ニ平價以下ニテ發行セラレ平價ニテ仕拂  
 ハル、故ニ其抽籤ニ當リシ時ハ意外ノ所得アレハ僥倖ニシテ初メニ  
 當闕ニ引當ラントノ念アレハナリ政府ニ於テモ其發行價格ト償却價  
 格ノ差異ニ由テ非常ノ損失アルコトナシ如何トナレハ年々償却スル  
 所ノ高ハ之ヲ全滿ニ比スレハ甚僅少ナルモノニシテ之カ爲メニ著キ  
 損失ヲ讓スヲナシ而シテ債主ニ於テ該兩價格ノ差異ヲ得ルノ僥倖ニ  
 遭遇セント欲スルノ山氣アル故ニ永遠公債ヨリ名目上ノミナラス實  
 際低キ利子ニテ満足スルノ實アレハナリ今試ニ巴里貨幣市場ノ景況  
 ナリテ之ヲ論ゼンニ有期定額拂公債ハ之ヲ永遠ノ者ニ比スレハ實際  
 低利ナルハ掩フヘカラサルノ成跡ナリ

一四二

今實際ノ景況ニ就テ之ヲ述ブニ千八百七十七年一月三日巴里貨幣市  
 場ニ於テ佛國五分利付公債証書ハ百五フラン八十五サンチム(但シ  
 利落ト掲載サレシ)故ニ實際ノ利子歩合ハ凡ソ四分七厘五毛トナリ  
 シ全時ニ四分半利付ノ者ハ百二フラン三分利付ノ者ハ七十二フラン  
 四十五サンチムナリシ故ニ第ニ者ノ歩合ハ凡ソ四分四厘六毛第  
 二ノ者ハ凡ソ四分二厘ナリシ然レモ全時全所ニ於テ四分利付三十年  
 満期ノ有期定額仕拂五百フランノ公債証書ノ千八百九十年ニ皆済ト  
 ナル者ハ五百フラン即チ平價ト掲載セラレタリ然レモ當時既ニ利落  
 ニテ實際ノ價格ハ四九二フラン十サンチムナリシ是レ利子ノ歩合  
 ト年々當籤ヨリ生スル平均ノ利益ヲ見積リ四分一厘八毛ノ歩合ニ恰  
 當スルモノナリ其他尙種々ノ實例ナキニ非スト雖一々枚舉ニ暇アラ  
 サルナリ由是觀之ハ償却價格ト賣買價格ノ差違ヨリ出ル所ノ利益ヲ



二四二

見込ミ得ル公債ハ實際ノ利子歩合輕キモノト云ツヘシ而シテ買入レ  
 シ年ヨリ二三年ヲ經テ或ハ當發セン乎ノ望ミアレハ歩合ハ更ニ低カ  
 ルヘシ其他闡引法トテ應募者ニハ其公債ニ附屬セル利子ノ外ニ闡當ニ  
 テ特別ノ利益ヲ與フル法アリ此方法ニ據レハ大ニ利子ノ歩合ヲ減少  
 スルコトヲ得此法ハ後篇ヲ待テ説ク所アルヘシ然ルニ低利ニテ借入債  
 却價格ト賣買價格ノ間ニ差アルモノハ平價ニテ募集セシ永遠公債ノ  
 如ク借替チナスコト容易ナラス佛國千八百七十年ノ敗后普國ニ償金  
 ナ拂フニ際シ「バートロコー」氏ハ千八百七十二年彼有名ナル五十億「フ  
 ラン」ノ國債ノ内三十億「フラン」ヲ募集セントシ頗ル奇巧ナル計畫ヲナ  
 セリ請フ之ヲ陳述セン此三十億ノ公債ハ五分利付ニテ實額三十四億  
 九千八百七十四万四千六百三十九「フラン」ニ達セリ而シテ其發行價格  
 ハ八十四「フラン」五十「サンチーム」ニシテ若シ一時ニ全額ヲ拂込ハ八十

三四二

一「フラン」ナリシ故ニ第一ノ場合ニ於テハ五分九厘一毛餘第二ノ場合ニ  
 於テハ六分一厘七毛餘ノ歩合ナリ一時ニ拂込者ヲ有期定期額拂トシ漸  
 次ニ拂込者ヲ永遠トセハ或ハ便利ナラン如何トナレハ一時ニ拂込者  
 ナレハ金持ニシテ其内或ハ其價ノ安キヲ以テ投機チナス者アルヘシ  
 或ハ數年ノ内ニ仕拂ハル、ヲ期望スル者多カルヘシ漸次ニ仕拂フ者  
 ハ細民ニシテ商業上ニ従事スル者少ク初メヨリ永遠金ノ仕用ノ爲メ  
 ニ募リニ應スル者多ケレハナリ然レモ「バートロコー」氏ハ拂込高一千  
 「フラン」ニ對シ年々五十「フラン」ノ利ヲ拂ヒ九十九年ノ内ニ二千「フラン」  
 ニテ償却セル證書ヲ發行シ三十八億「フラン」ノ國債ヲ起シ更ニ百「フラ  
 ン」ニ付四十六「サンチーム」ヲ償却元金トシテ年々仕拂フモノトセリ故  
 ニ此兩元素ヲ合シテ政府カ債主ニ仕拂フモノハ百「フラン」ニ付五「フラ  
 ン」四十六「サンチーム」即チ五分四厘六毛ナリ然ルニ實際行ハレシ法ニ



四四二

ヨレハ六分内外ノ高利ヲ拂ヘリ若シ此法ヲシテ實施スルヲ得セシメ  
 ハ大ニ國債ノ費用ヲ減少スルヲ得シナルヘシ若シ又此計畫ニ據テ發  
 行セシ一千フランノ公債平價ヲ保ツテ得スシテ九百五十フランニ賣  
 却スルモ利子歩合ハ百フランニ付五フラン二十六サンチームトナル  
 ヘシ之ニ償却元金四十六サンチームヲ加フト雖僅ニ五フラン七十二  
 「サンチーム」ニシテ實際施行セラレシ者ノ公債ノ歩合ヨリ輕キ事百フ  
 ランニ付尙凡ソ三十サンチームナリ而シテ當時募集セシ公債元金凡  
 ソ三十五億フランナレハ其費用必ス一千五フランヲ減少スヘシ是決  
 シテ少々ノ減少ニ非サルナリ當時瀛車會社ノ負債証書ニ金ヲ使用ス  
 ルノ利益凡ソ五分ナリシニ由リ或ハ之ヲ實施スルヲ得シナルヘシ而  
 シテ佛國ノ經驗ニ由レハ法律ノ強ユルコトナシカテ國債ヲ償還スル  
 ト機ニ投テ借替ヲ決行スルハ取治者ノ難シトスル所ナレハ此類ノ借

五四二

入或ハ利ナシト云ヒ難シ況ンヤ償却價格ト賣買價格ノ差アルニ由リ  
 永遠公債ヨリ聊カ利子ノ歩合ヲ減少スルコトヲ得ルニ於テ「ヤ」  
 是ニ於テ「ヤ」レナン、セイ「氏」モ佛國大藏卿トシテ千八百七十八年官工  
 公債募集ニ際シ國會ニ説キ五百フランニテ仕拂フヘキ三分利付公債  
 ノ七十五年ニテ皆済スル者ヲ發行セシメタリ此工事ハ十年間ニ四十  
 億若クハ五十億フランヲ要スル者ニシテ實ニ非常ノ一事業ナリ此ノ  
 如キ業ノ爲メニハ此方法ハ便利ナルモノニシテ「永世」ニ殘ラス仕拂ハ  
 急速ナラス且佛國ニ於テ最適當ナル者ナレハ「ボリユ」氏ノ如キ大家  
 モ大ニ之ヲ主張ス當時國會募集方法ヲ茲ニ取シハ「ボリユ」氏等ノ説  
 國會ニ容ラレシ者ナラン彼千八百七十五年ノ佛國ノ官工公債ノ如キ  
 ハ五百フラン「チ」一口トシ四分利付ニテ三十年ニテ仕拂フヘキ方法ニ  
 テ發行セラレタリ此公債ハ殆ント平價ヲ占メタリ此方法ハ仕拂期限



六四二

餘リ短ク償却又ハ借替ヲ行フ事容易ナラズ爲メニ歲出額ヲ増加スル  
コト多シ故ニ有益ナル官工ニテ三十年ヲ以テ全ク興業費ヲ償却シ得  
ルノ見込十分ニアルコト非スハ少シ期限ヲ長クシ七十五年位ヲ以テ  
程度トナスヘシ之ヲ三十年ニ期スルハ少シク急遽ニ失シ未來ノ爲メ  
ニ現在ヲ若シムルハ過當ナリト云フヘシ其ノ他此法ハ瀛車會社ノ採  
用スル法ナレハ他日官工ヲ(若シ瀛車ナラハ)瀛車會社ニ引次クニ際シ  
テ甚タ便利ナリ

此公債ヨリレテ佛國貨幣市場ノ相場掲載上ニ一種ノ變化ヲ來セリ此  
公債ヲ五百フラン公債三分利付ト掲載セス其増減ニ係ル分數ノミチ  
掲載シ之ヲ名付テ三分利付ノ償却スヘキ者ト云フヲ以テ其性質判然  
ナラス公衆モ其何者タルヲ知ルコト苦シムトナレリ此公債募集迄ハ  
有期定額仕拂ニ於テハ其償却ハ大方成崩ノ法ヲ行フニ通例ニシテ

七四二

車會社負債證書ノ償却ノ如キ重ニ之レニ基セリ然ルニレチン、ゼイ、氏  
ハ此ノ公債ヲ百七十五部分ニ別テ千八百七十九年ヨリ千九百七年マ  
テハ毎年抽籤ヲ以テ其ノ一部分ヲ償却シ千九百九年ヨリ全二十五  
年マテハ毎年其ノ二ツノ部分ヲ拂ヒ千八百六十六年ヨリ全三十八年  
マテハ毎年三ノ部分千九百三十九年ヨリ全四十五年マテハ毎年四ツ  
ノ部分千九百四十六年ヨリ全五十年マテハ毎年五ツノ部分千九百五  
十一年ヨリ全五十二年マテハ毎年六ツノ部分ヲ仕拂フコトヲ定メタ  
リ此方法モ又タ一法ナリト雖若干年間ハ償却高等レク其レヨリ急ニ  
増加シ第一期ヨリ第二期ニ遷ルトキハ倍其ヨリ暫ク一同ニシテ又急  
ニ増加スル故ニ成崩シノ法ノ如ク先年償却セシ者ノ利子ヲ要セサル  
故ニ此高ハ必ス元金償却ニ組込ニ別ニ歲入ヲ要セス年々償却高ヲ増  
加シ初メヨリ其利子ヲ要セサルヨリシテ起ル所ノ金ハ必ス償却ヘ元



金トスヘシト定メ其ノ出途ヲ明コスルノヨキコ如サルナリ勿論此新法ト雖年々元金ノ償却ニヨリ利子仕拂ヲ減スルヲ以テ年々之ヲ積置ハ每期ノ替リ目ニ於テ之ヲ償却ナス甚容易ナルヘシト雖歲入ノ餘裕アレハ必ス之ヲ得ント欲スル者アレハ斯ノ如クシテ生セシ餘裕ハ必ス他ノ費用ニ奪取ラル、コトナキヲ保セス故ニ成崩ノ法大ニ此新法ニ勝ルモノト云ツヘシ第四ノ方法即チ有期一時仕拂法ハ必スシモ一時ニ仕拂ヲ要セス其方法ハ何ケ年据置何年目ヨリ何ケ年目マテニ仕拂ト定ムル者アリ故ニ之ヲ有期適宜仕拂ト號ルモ妨ナカルヘレ佛國ノ五ヨリ十米國ノ五ヨリ十等ト號クル公債ハ皆此類ニシテ五年据置六年目ヨリ十年マテ六年目ヨリ二十年マテノ間ニ財政ノ都合ニヨリ仕拂フヘシ然レ滿期ノ節即チ十年目若クハ二十年目ニハ必ス仕拂フヘシト約束スル所ノ者ナリ故ニ此方法ニ據レハ年々財政ノ寬急ニ拘ハ

ラス必ス仕拂フ者ニ非ス又永遠公債ノ如ク負債ヲ後世ニ殘スコトモナク大ニ便利ナルモノ、如シ然リト雖亦其不便ナキヲ得ス請今其不便ヲ論究セン

此方法ニ據レハ期限中ノ各年度ニハ必ス仕拂ヲ要セサレハ政府ニ於テ必ス年々ノ豫算ニ其償却ヲ見込ムヤ否ヤ未タ遠コ之ヲ保証スル事能ハス若シ立法又ハ行政部ニ於テ只ニ其年ノ經費ヲ減少スルヲ榮トシ未來ヲ顧サル事アレハ滿期ノ年ニ當テ非常ニ歲出ヲ増サ、ルヲ得ス年々ノ歲出ニ著キ差違アルハ財政上甚好マシカラサルコトナリ而シテ滿期ノ年ニ於テ政治上或ハ經濟上ノ困難ナキヲ保セス然レモ之ヲ仕拂ハサレハ大ニ信用ヲ害ナヒ益々其困難ヲ増加スルハ決ノ疑ヲ容ル、能ハサルコトナレハ若シ斯ノ如キ不幸ニ遭遇スレハ高利ノ國債ヲ起シ之ヲ弁償セサルヲ得サルコトアルモ計ラレス是レ此類ノ公



○五二

債ノ最不便ナル所以ナリ而シテ又若シ期限短キニ過レハ五六年間財政困難ノ連續スルハ珍シカラサルヲナレハ此間ニ公債ヲ償却スルハ甚ク困難ナルヘシ現ニ輓近佛國ノ千八百七十年ノ后五六年ノ景況歐米各國ノ商業沈滞ハ五六年ニ涉リ能ク右ニ説ク所ノ虚ナラサルヲ示ス者ナリ然レモ若シ英米ノ如キ靜謐ナル國ニ於テ此法ヲ行ヒ年限ヲ四五十年ニ延シ市場ノ景況若シ之ヲナシ得ルニ至レハ借換ヲ行フコトヲ定メ政府ニ於テ銳意年々ノ償却ヲ決行シ成崩ノ法ニ從ヒ年々幾分乎之ヲ償却シ若シ幸コシテ歲入殘餘アレハ之ヲ其償却ニ宛ハ政治上經濟上ノ原由ヨリ財政ノ裕ナラサル時ニハ強テ償却ヲナスヲ要ス永遠公債ノ如ク負債ヲ永遠ニ殘スカ如キコトナク滿期ニ際シ或ハ困難ナキヲ保セスト雖平常右ノ如ク銳意償却ヲ決行スレハ滿期ノ困難ハ長シ之アルニモセヨ大ニ減少スヘシ而シテ滿期ノ年ニ困難アル

一五二

ハ制限中ノ或年ニ之アルヨリ先ツ少ナキハ最看易キノ理勢ナレハ此法ハ有期定期額拂ノ如ク年々或高ノ償却ヲ豫約スル者ヨリモ或ハ便利ナルモノアラシ然レモ此好結果ヲ得ルモ偏ニ政府ノ施政如何ニアレハ平常其針路ヲ亂サ、ルハ最肝要ノ事ナリ勿論此方法ハ佛國ノ如ク屢々外患内憂ノアル國柄ニ於テハ力ヲ避ヘキノ方法トス何トナレハ如何程政府ハ平日其針路ヲ過マラサルヲ力ムト雖騷擾ノ起ルニ及ンテハ勢之ヲ履行スルヲ得サレハナリ北米合衆國ハ四境ニ強國ナシ其國未タ古國ノ体裁ヲナス民ニ餘力アリ國ニ遺利アリ其國富ノ發達實ニ著ク此類ノ公債ノ最適當スル國ト云ツヘシ茲ニ於テヤ該國ノ公債ハ重ニ此方法ニ據ル請今其種類ヲ掲出セン

第一 千八百六十二年發行六分利付五年据置六年目ヨリ適宜ニ償還  
 廿年迄ニ吃度償還ス可キモノ總額五億千五百万弗



- 第二 千八百六十四年發行六分利付全上總額大凡一億三千万弗
- 第三 千八百六十五年發行六分利付全上總額五億三千六百五十万弗
- 第四 千八百六十七年發行六分利付全上總額三億七千九百五十万弗
- 第五 千八百六十八年發行六分利付全上總額四千二百五十万弗
- 第六 千八百六十四年發行五分利付十年据置四十年迄ニ償還スルモ  
ノ總額二億弗

第七 六分利付千八百八十一年七月一日ニ償還ス可キモノ

第八 五分利付塊集國債千八百七十一年發行ニカ、リ發行後第二年

目ヨリ共和政府ノ差圖ニ從テ償還ス可キモノ發行免許額五億弗  
由是觀之ハ米國ノ公債ハ終ノ二者此法ニ據ラサルノニ其他皆此法ニ  
據ル實地ノ景況ニ付國民之ニ最適合スルモノヲ撰フハ實ニ面白キコ  
トナリ

以上四ツノ有期國債ノ種類即チ一生年期有期年期有期定期仕拂有期  
一時仕拂ノ法ハ永遠公債ト相反スル者ニシテ互ニ一得一失アルハ既  
ニ說ク所ノ如シ今此四法ノ内何レヲ以テ最上トスルハ時ノ景況ト國  
債ヲ起ス目的如何ニ據テ之ヲ定メスノハアルヘカラス元來財政ノ如  
キ活動限リナキ者ナレハ坐上ニ於テ只管一法ノ利ノミヲ說クハ決シ  
テ其當ヲ得タル者ニ非サルナリ宜シク現存未來ノ景況ヲ察シ事ノ大  
小寬急ニ從ヒ實收額多ク后年ニ至リ其レカ爲メニ國費ノ徒ニ増加ス  
ルコトヲ避ケ償却ノ容易ナル方法ヲ考究セサルヘカラス若シ此点ヲ  
過ラサルヲ得ハ四法ノ内何レヲ撰フモ敢テ妨ナカルヘシ



## 國債論卷ノ三下

## 國債募集方法 第二編

前編ニ於テ私信公債ノ別ヲ説キ私信ニ於テハ常ニ償却期限ヲ定ムル  
ト雖公債ニ於テハ大ニ之ト違ヒ償却ヲ滿期迄ハ負債主ノ都合ニ任セ  
或ハ永遠公債ノ如ク債主ニ於テ永世元金ノ償却ヲ請求スルコト能ハ  
サル者アルヲ弁明シ力メテ期限上ヨリ生スル所ノ利害得失ヲ論究セ  
リ此編ニ於テハ更ニ歩ヲ進テ公債ハ償却及貸付報酬ノ大ニ私信ト差  
違アル所以ヲ論究セン抑々私信ニ於テハ利子制限法ノ平面ヲ覆フニ  
非サレハ借入高ト償却高トニ差違アルヲナシ貸付ニ對スル報酬ハ單  
ニ市場ノ景況ト負債主ノ信用ノ厚薄トニ由リ四分或ハ五分若クハ何  
割何分ト定マリテ其他ノ報酬アルコトナシ然レモ公債ニ於テハ通例  
償却高ハ借入高ヨリモ多ク利子ト雖單ニ借入高ノ何分ト定メス其他



二五六

ニ國札或ハ年金等ヲ與フル事協カラス今何故ニ公信ニ於テハ元利支拂ニ此ノ如キ著キ差違アルヤノ理由及此差違ヨリ政府財政上ニ如何ナル影響ヲ與フルヤヲ論究セン

諸國ニ於テ實際ノ借入高ヨリ公債ノ償却價格ヲ高フスルノ風俗アリ此事タル固ヨリ當ニ然リト云フニ非スト雖殆ト之ヲ一般ト云フテ妨ナカルヘシ一國ノ公債ニ於テ其利子歩合ニ著レキ差違アリ佛國ノ如キハ三分利付四分利付四分半利付五分利付六分利付等ノ公債アリ勿論公債募集ノ都合貨幣市場ノ景況均一ナルヲ能ハスシテ少々ノ差違アルハ勢ノ免レ能ハサルモノアリト雖等々百フランヲ投シテ或ハ三分或ハ四分或ハ四分半或ハ五分或ハ六分ト云フカ如キ非常ノ差違アルコト能ハス必ス此等ノ利子ヲ帶フル公債証書ノ價格ニ於テ差違ナキヲ得サルナリ而シテ其差違アルカ爲メニ低利ノ者ハ高利ノ者ヨ

リ需要セラル、ヲ通例トシ低利ノ者ハ却テ証書ノ所有者ニ利益ヲ與フルコトアリ是等ノ差違ヲ生スルノ原因ハ甚繞密ナルモノニシテ頗ル論究スヘキモノアリ請フ之レヲ詳論セン

斯ノ如ク全一ノ國ニ於テ全額ノ公債証書ニ對シ報酬ニ差違アルハ發行價格愈々低ケレハ利子愈々低ク發行價格愈々高ケレハ利子愈々高ク發行價格愈々低ケレハ元金償却ニ際シ債主ノ得ル所愈々多ク發行價格愈高ケレハ元金償却ニ際シ債主ノ得ル所愈々少ナキニ職由スルナリ然リ而シテ平價ニテ公債証書ヲ發行シ証書常ニ平價ヲ保テハ元金ノ償却ニ由テ債主ノ所得アルコトナシ今平價ニテ公債証書ヲ發行スルトハ如何ナル事ナルヤヲ檢尋スルニ政府カ現ニ借入シ丈ノ高キ債主ニ償却スル事ナリ譬ハ一個人カ百フランヲ政府ニ貸附百フランノ公債証書ヲ得其報酬即チ利子トシテ三分即チ年々三フラン四分即チ

二五七



年々四「フラン」若クハ他ノ歩合ヲ得ルトキハ此公債ハ即チ平價ニテ發行セラレシモノナリ故ニ償却ノ時政府カ債主ニ仕拂フ者ハ其初メ受取シ高ト均シキ高ニテ債主ハ此公債証書ノ發行後多少ノ下落ヲ示シ廉價ニ之ヲ買受シユアラサレハ償却ニ由テ特ニ利益ヲ得ルコトナシ是ニ反レテ政府カ呼價ニテ公債証書ヲ發行スルコト尠カラス譬ハ九十「フラン」若クハ八十「フラン」ニ對シテ百「フラン」ノ公債証書ヲ與ヘ償却ノ時ハ之ヲ百「フラン」ニテ償却ス是則チ發行價格ト償却價格トニ於テ差異アル所ナリ故ニ此方法ニ據テ發行セシ公債ハ其利子市場ノ歩合ヨリ低レ公債募集ノ方法斯ノ如ク差違アル故ニ一國ノ公債ニシテ其歩合ニ著シキ差違アルハ決シテ怪シムニ足ラサルナリ

第十七世紀ヨリ第十八世紀ノ未即チ千七百八十年頃ニ至ルノ間英國ハカメテ平價ニテ其公債ヲ起セリ即チ英政府ハ債主ヨリ百「ポンド」ヲ

借入レ之ニ對シテ百「ポンド」ノ公債証書ヲ與ヘ百「ポンド」ヲ以テ之ヲ償却セリ而シテ其利子ハ一年四分或ハ五分若クハ六分ニ達セリ(後盛ニ行ハレシ年金付ノ公債証書モ通例平價ニテ發行セラレタリ)此募集方法ハ最モ簡易ナル者ニシテ私信ノ場合ト相去ルコト遠カラス平面上ヨリ之ヲ見ルニ平價ニテ借入ルニ於テハ政府ハ六分若クハ七分ノ利子ヲ拂ハサルヲ得ス非常ノ高利ヲ拂フ者ノ如シト雖其元金償却ニ於テ發行價格以上ノ者ヲ仕拂フヲ要セサルヲ以テ償却ニ於テ政府ノ費用ヲ減少スルモノト云ツヘシ且ツ市場ノ景況ニ乘シ低利ノ者ト借換チナスコトハ此法ニ於テ最モ容易ナレハ此法ハ甚利益アルモノナリ然リト雖平面ヨリハ之ヲ低利ニシテ年金ヲ附スルカ如キ方法ハ借換チナスコト甚ク難ク且ツ取扱甚縝密ニシテ決シテ策ノ得タルモノニアラス時トシテハ公債ニ年金ヲ附セス籤引ニテ特別ノ利ヲ與フル



者ナリ其方法ハ通例百ポンドノ公債証書ヲ發行セ之ニ利子外ニ十ポ  
ンドノ特別利益ヲ付シ籤引ニテ當籤ノモノニ此特別利益ヲ與フコト  
ナリ而シテ當籤者ヘ仕拂フ金額ハ総債主ニ與フヘキ利子ノ十分ノ一  
トス此高ハ通例他ノ債主ノ受取ルヘキ利子ノ減少ヨリ生ルモノニシ  
テ政府ヨリ殊更ニ他ノ歳入中ヨリ仕拂フ者ニ非スビット以前英國ニ  
於テ行ハレシ籤引ハ此類ノ者ナリ

北米合衆國獨立戰爭ノ後殊ニウイリヤムピットノ在職中英國政府ハ  
平價以下ニテ呼價ヲ以テ公債ヲ發行シ實際ノ利子ノ歩合ヲ示サ、ル  
方法ヲ施行セリ即チ政府非常ニ金員ヲ要スルニ際シ六分以下ニテ借  
入ル、コトノ難キヲ察シ百ポンドノ公債証書ヲ平價ニテ發行シ此レ  
ニ六分ノ利子ヲ附セス實收高百ポンドニ對シ三分利付ノ百八十ポ  
ンド或ハ百九十ポンドノ公債証書ヲ發行シ陽ニ三分利付ナリト雖實際

ハ六分ニ近キ利子ヲ拂ヘリ

今何故ニ政府ハ此ノ如キ繞密ナル方法ニテ負債ヲ起スヤヲ尋ヌルニ  
其理由ニツアリ

第一 利子制限法ヲ避ケンカ爲メナリ

第二 此方法ニヨリ聊カ利子ヲ減少セント欲スルナリ

政府巨額ノ公債ヲ起ストキハ國事多端利子歩合高キトキナルヲ通例  
トス故ニ政府ハ法律ノ制限スル所ノ歩合ニテ負債ヲ起スコト能ハス  
然レニ進シテ高利ヲ以テ之ヲ借入ルレハ自ラ法律ニ背クノ嫌アルヲ  
以テ一個人ノ貸借ノ間ニ負債主カ時トシテハ利子制限法ヲ避ケン  
欲シ實際ノ高ヨリ多ク借入シ如ク取計ヒ外面ヲ蔽フカ如ク政府モ呼  
價ヲ付シ平價以下ニ公債証書ヲ發行スルナリ今佛國ノ例ヲ以テ之ヲ  
論センニ政府ノ定ムル處ニ據レハ利子ノ制限ハ五分ナリ然ルニ彼ノ



五十億フランノ國債ハ決シテ此步合ヲ以テ募集スルコト能ハザリシ  
 ヲ以テ千八百七十一年ニハ實收高七十九フランニ對シ五分利付ノ百  
 「フラン」ノ公債証書ヲ交付セリ故ニ實際ハ六分三以上ノ步合ニ當レリ  
 此方法ニヨレハ陽ニ法律ノ制限ヲ超過セサルニヨリ彼等ハ人民相互  
 ノ貸借ハ尙ホ檢束スルニ足レリト信セリ

第二ノ理由即チ呼價ヲ付シ平價以下ニテ公債証書ヲ發行スレハ實際  
 ノ拂込高ト償却高トノ間ニ差異ヲ生スルヲ以テ債主ニ於テモ此差異  
 ニ付テ利益スル所アレハ聊カ實際ノ利子ヲ拂込高ト償却高ト等フス  
 ルモノヨリ低減シ得ヘシト云フハ決シテ其實ナキニ非ラサルナリ請  
 フ之ヲ詳論セン

元來呼價ヲ付シ平價以下ニ公債ヲ發行スレハ政府ハ債主ニ二様ノ利  
 益ヲ與フルモノナリ

### 第一利子

#### 第二拂込高ト償却高トノ差異

今此類ノ公債ヲシテ永遠公債トナス共市場ノ景況ニヨリ公債証書ノ  
 價格騰貴スルコトアルヘケレハ其所有ノ公債証書騰貴スレハ之ヲ賣  
 却シテ賣却ノトキノ價格ト發行ノトキ拂込シ高トノ差異ニ於テ利益  
 スルノ望アレハ幾分乎低利ニテ募集ニ應スルノ實ナキニ非ス(方今巨  
 額ノ國債ヲ起スハ先ツ資本家組合ニ証書ヲ賣リ急ニ金員ヲ得後彼等  
 ハ此レヲ再賣シテ利ヲ得ルヲ通例トスレハ急遽ノ場合ニ於テハ平價  
 以下ノ發行或ハ適當スルコトアルヘシ)已ニ前編ニ於テモ其實例ヲ揭  
 載セリ元來公債証書ノ價格ハ隨分變動スルモノナリト雖平價ニテ發  
 行セシモノカ平價以上ニナルハ平價以下ノモノカ其發行價格ヨリ騰  
 貴シ平價ニ迫ルヨリ遙ニ稀ナルモノナレハ平價發行公債証書ノ所有



四六二

者ハ利子ハ高シト雖他ニ得ル所ナケレハ平價以下ニテ發行ヒテレシ  
公債証書ヲ所有シ坐ラ其資本ノ増加ヲ望ミ得ルモノヨリモ割合ニ高  
利ヲ得サレハ満足セサルヘシ此レ政府カ單純ナル平價發行ノ法ニヨ  
ラス殆ント一般ニ此繞密ナル平價以下ノ發行法ニヨル所以ナリ乞フ  
今其利害得失ノアル所ヲ論究セン

右ノ方法ニヨツテ國債ヲ起セハ平價ニテ之ヲ募集スルヨリ幾分乎低  
利ニテ政府入用ノ金額ヲ得ルハ敢テ疑ヲ容ルコト能ハス暫時ハ爲メ  
ニ國債ニ付テノ費用ヲ減少シ得ヘシト雖其償却ニ至リテハ實際ノ借  
入高ヨリ多クノ額ヲ仕拂ハサルヲ得ス故ニ此方法ハ未來ニ義務ヲ殘  
ス事平價發行ノ法ヨリ重シト云ハサルヲ得ス歐洲各國ノ公債ノ巨額  
ニ達セシト其久シク償却ニ至ラサルハ大ニ此借入法ニ原因ス請フ今  
英國ノ實例ヲ引テ之レヲ論セン

英國ニ於テハ「ピット」ノ宰相タリシトキハ平價以下三分利付ニテ公債  
証書ヲ發行シ平價ヲ以テ五分若クハ六分ニテ發行セシヨリ實際一分  
ノ四分ノ一位利子ヲ低減スルコトヲ得タリト雖是レ一時ノ利益ニシ  
テ決シテ永遠ニ持ムヘキニ非ス却テ此少小ノ利益ノ爲メニ大利ヲ忘  
却セシモノナリ元來英國ハ千七百八十年頃迄ハ重ニ平價借入ノ法ヲ  
施行セリ今「ハミルトン」氏ノ英國公債史ニ就テ英國ハ千七百五十五年  
ヨリ「ナポレオン」戦争ノ終リマテ如何ナル方法ニ據テ公債ヲ起セシヤ  
ヲ掲載セン

五六二

千七百五十五年ヨリ全六十二年マテ英國ノ公債ヲ起セシコト前後九  
回實收額五千三百万「ポンド」ニシテ呼價即チ証書額面價格五千四百二  
十三万「ポンド」ニ達セリ是レ未タ發行價格ト償却價格ヲ等フセスト雖  
兩價格ノ相去ルコト遠カラズ此九回ノ公債ノ内實收高ト額面價格ト



六六二

ナ異ニスルモノ二即チ千七百五十九年ニハ百ポンドノ實收高ニ對シ  
 百十五ポンドノ公債証券ヲ與ヘ三分ノ利子ヲ付セリ千七百六十年ノ  
 モノハ四分利付ニシテ百ポンドノ拂込高ニ對シテ百三ポンドノ公債  
 証券ヲ交付セリ其他ノモノハ平價ニテ四分三厘半利付又ハ三分利付  
 ニテ長期年金付若クハ關引札ヲ付スルモノナリシ  
 千七百七十六年ヨリ同八十年マテニ英國政府ハ公債ヲ起セシコト五  
 回其第一回ノモノハ平價以下ニテ發行シ其他ノモノハ皆平價ニテ  
 之ヲ募集セリ此五回ノ公債ノ實收高三千二百万ポンドニシテ額面高  
 ハ三千二百十五万ポンドナリシ今此兩額ヲ比較スルニ殆ト全一ノ高  
 ナリ其差違アルハ五回ノ公債中最少額ナル第一ノモノハ三分利付ニ  
 シテ實收高百ポンドニ對シ百七ポンドトシテシリングノ証券ヲ交付シ其  
 他四回ノ者ハ或ハ四分或ハ三分利付ニシテ平價ニテ發行シ有期年金

ヲ付セシコト是ナリ

千七百八十一年ヨリ全八十五年マテ新ニ公債ヲ起シ又ハ短期ノ舊公  
 債ヲ塊集セシコト前後六回此度ハ盡ク三分又ハ四分ニテ平價以下ニ  
 テ募集シ其實收高ハ五千九百七十六万三千八百四十二ポンドナリシ  
 ト雖額面價格ハ八千三百十一万七千九百九十三ポンドニ上レリ故ニ  
 英國政府ハ實收高ヨリ二千三百三十五万ポンド餘多ノ高ヲ償却スル  
 ノ義務ヲ作爲セシモノト云ツヘレ

千七百九十三年ヨリ千八百十六年マテニ起セシ公債ハ皆平價以下ニ  
 テ募集シ其實收額四億九千八百六十九万五千八百六十二ポンドニシ  
 テ額面價格ハ實ニ七億七千三百六十八万五千三百三十八ポンドノ巨  
 額ニ達セリ此實收ト額面ノ差ハ殆ト二億七千五百万ポンド是則凡ソ  
 五割八分ノ増加ニシテ實ニ非常ノ差異ト云ハサルヲ得ス英國政府ハ

七六二



此巨額ノ金員ヲ實際借入シ外ニ償却セサルヲ得サルナリ此巨額ノ公債中額面高六億八千八十二万七千三十八ポンドハ三分利付ニシテ四千三百三十万三千四百五十ポンドハ四分利付五千二百五十五万五千三百五十ポンドハ五分利付ナリ而シテ此額面高ニ對シテ仕拂フヘキ利子ハ二千四百六十六万四千七百十三ポンドナリ之ヲ實收高四億九千六十九万五千八百六十二ポンドニ宛レハ殆ンド五分ニシテ之ニ長期年金八十七万九千四百九十七ポンドヲ加フレハ五分以上ニ宛ルナリ右ニ説ク所ノ者ヲ以テ之ヲ見レハ當時英國政府此巨額ノ公債ヲ平價ニテ募集セハ債主ニ於テ其資本騰貴ノ望少ナキニ由リ少々ハ高利ヲ要スヘシト雖五分四分ヲ一若シクハ五分半ニテ借入ル、コトヲ得テリシヤ敢テ疑ヲ容ルコト能ハサルナリ若シ彼等ヲシテ五分半ニテ募集セシメントスルトモ其利子ノ増加ハ實際凡ソ二百四十万ポンドナ

ルヘシ而シテ此増加ト雖決シテ永遠ノ者ニ非ラス世治ルノ後ハ漸次五分半ヲ四分ニ借換四分ヲ三分半三分半ヲ三分四分ノ一或ハ三分ニ借換ル、亦難キニ非ス果シテ然ラハ元金ニ於テ二億七千五百五ポンド餘ヲ減少シ得ルノミナラス利子ニ於テ凡ソ五分ノ二ヲ減少スルヲ得ヘシ策茲ニ出テス后世ニ巨額ノ公債ヲ殘シ借換ヲシテ殆ント行フ能ハサラシメシハ英國政府ノ爲メニ最モ惜マサルヲ得サルナリ論者或ハ云フ若シ英國カ當時國債ヲ起セシ初メ平價發行法ニ據レハ一時割合ニ高利ヲ拂ハサルヲ得カリシヤ疑フ能ハサルコトナレハ之カ爲メニ英國ハ幾分手公債ノ實收高ヲ増加セサルヲ得サルナルヘシ論者ノ言實ニ然リ故ニ今數歩ヲ讓リ之カ爲メニ英國ハ四千万ポンド即十億フランヲ彼ノ實收高四億九千八百万ポンド即百二十五億フランノ外ニ借入シトスルモ平價發行ノ方法ハ彼等ニハ甚有益ナルモノナリ



シハ敢テ疑ヲ容ル、能ハス請之ヲ弁セシ  
 今英國カ公債ノ利子高ク其費用ヲ弁センカ爲メニ更ニ十億フランヲ  
 借入シトセハ彼ノ百二十五億フランハ百三十五億フラントナルヘシ  
 今此上ニモ數歩ヲ譲リ百四十億フランヲ借入シトセ之ニ五分半ノ利  
 子ヲ拂フトスレハ一時ハ七億七千万フランヲ利子トシテ年々仕拂ハ  
 サルヲ得ス然レニ暫時ニシテ五分半ノ公債ハ之ヲ三分半ニ借換ヘル  
 コトヲ得シニヨリ利子ハ減シテ四億九千万フラントナリシナルヘシ  
 然ルニ當時英國ノ實際借入高四億九千八百六十九万五千八百六十二  
 「ポンド」即チ百二十億五千万フランニ對シテ仕拂ヲ要セシ利子及年金  
 ノ高ハ二千四百六十六万四千七百十三「ポンド」ニ達シ八十七万九千四  
 百九十七「ポンド」ナレハ之ヲ合シテ凡ソ六億四千万フラン餘ナリ故ニ  
 利子支拂ノ高ハ年金滿期及四分又ハ五分ニテ募集セシモノヲ三分半

ニ借替シ后ト雖尙五億九千五百万フランナリモシ英國政府ヲシテ平  
 價以下ニテ發行スルヲ止メ平價ニテ發行セシメハ暫時ニシテ利子仕拂  
 ニ於テモ一億五千万フランヲ減少スルヲ得シナルヘシ而シテ其元金  
 ニ於テ減少スルハ元ヨリ論ヲ俟タサルナリ論者或ハ云ハン平價發行  
 ノ法美ハ即チ美ナリト雖モ實際之ヲ行フコト甚々難シト然リト雖是  
 レ決シテ然ラス若シ之ニ相當ノ利子ヲ附シ若シ要用ト見認ルニ於テ  
 ハ五年若クハ十年ノ間ハ借替ヲ爲サルヘシト約スレハ(即チ五年若ク  
 ハ十年据置キ其后政府ノ都合ニヨリ云々)決シテ之ヲ施行スルニ苦マ  
 サルヘシ現ニ英國千七百八十年以前ノ實例モアリ又千八百七十七年  
 ニ於テ府債(倫敦ナルヘシ)ヲ募集ルニ際シ三分半ノ利子ニテ百二十五万  
 「ポンド」ヲ募集シ平價ヲ以テ最下ノ價格トシ平價以上ニテモ拂込コト  
 ヲ許セリ千八百七十七年及全七十八年日耳義和蘭「スウヒーデン」ノ



ールウエイ「モ平價或ハ殆ト平價ニテ公債ヲ起シ合衆國ニ於テモ平價ニテ公債ヲ起セリ佛國ニ於テモ其例ナキニ非ラス殊ニ一度ハ平價以上ニテ發行ヲ約セシコトアリ即チ千八百二十八年ノ議定ニ依リ千八百三十年一月十二日「ロスナルド」ト約シ四分利付ノモノヲ百二「フラン」七「サンチーム」半ニテ實額八千万「フラン」ヲ募集スルコトヲ定メタリ然ルニ不幸ニシテ其約ヲ履行セサル内ニ全年七月革命ノ亂ニ遭遇シ少シク此條約ヲ改メサルヲ得サルノ場合ニ至レリモシ當時此亂ノ起ルコトナカリセハ此約ヲ履行スルヲ得シナルヘシ(騒亂ノ爲メニ前約ヲ換ラルハ元ヨリ然ル可カラサルコトナリ)千八百三十二年八月ノ一億五千万「フラン」ノ公債ハ五分利付ニテ九十八「フラン」五十「サンチーム」ニシテ發行セリ是レ殆ント平價ト云フヘシ

其他第二共和政治ノトキニ發行セシ公債証書ハ重ニ三分利付ノモノ

ナリシト雖若シ利子ヲ高クシ三分半若クハ四分トセハ之レヲ平價ニテ募集スル甚タ容易ナルヲナリシト云フ夫ヨリ后千八百六十一年前ノ公債ニシテ四分半利付ノモノハ九十二「フラン」五十「サンチーム」或ハ九十二「フラン」二十五「サンチーム」ニテ發行セシ故ニ之ニ五分利ヲ付シ加フルニ五年若クハ十年間償還ヲ爲サスト約スレハ平價ニテ發行スルヲ甚タ容易ナリシヤ又タ敢テ疑ヲ容ルハコト能ハサルナリ而シテ此ノ方法ハ元金ニ於テ后年ノ義務ヲ輕ニスルノ實アレハ募集ノ時ノ費用ハ却テ后年ノ經費ヲ減少スルノ方便トナルコト明瞭ナリ

今亦一步ヲ進メテ政府カ平價ヲ以テ公債ヲ募集スルヲ欲セサルトキハ政府ハ高キ歩合ニテ成ル丈ケ平價ニ近ク公債証書ヲ發行スヘキヤ又ハ低キ利子ニテ遙カニ平價以下ニテ之ヲ發行スヘキヤヲ論究セン假令ハ九十三「フラン」ニテ五分利付ノモノヲ發行スヘキヤ又ハ五十九



四七二

「フラン」ニテ三分利付ノモノヲ發行スヘキヤ(此比例ハ千八百七十三年十二月ノ佛國市場ノ現況ニ依ルモノナリ)ト云フコ余輩ハ斷レテ第一ノモノヲ取ルノ利益アルヲ知ル元來公衆カ公債ノ募集ニ應シ或ハ公債證書ヲ購買スル所以ノモノハ其目的トスル所ニアリ

第一之カ爲メニ拂込高又ハ之ヲ購買スル爲メニ拂出ス金高ニ對シ最高ノ利子ヲ得ント欲スルニアリ

第二其發行價格ト償却價格ノ差違若クハ買入價格ト賣却價格トノ差異ニ依テ利益ヲ得ント欲スルコアルナリ

然リ而シテ利子高キモノハ平價或ハ平價ニ近キ價ニテ發行セラレシモノニシテ利子低キモノハ平價以下ニテ發行セラレシモノナリ而シテ又其價額ノ最變動スルモノハ第二ノモノニシテ第一ノモノハ動搖少キモノナリ此ニ於テカ投機者流ノ最モ需用スルモノハ第二ノモノ

五七二

ニシテ真正ニ老后ノ爲メ疾病ノ爲メ又ハ未來ノ爲メニ貯蓄スルモノ、最モ需用スルモノハ第一ノモノニアリ抑モ公債證書ノ如キ元ヨリ真正ナル貯蓄者ノ爲メニ用ユルハ好マシキコトナレトモ之ヲ以テ投機者流ノ器具トナスヘキモノニ非ラス然ルニ其制度如何ニヨツテ彼等ノ一玩弄物トナルヲ免レス豈ニ慎マサルヘケンヤ元來國債ヲ起スニ當テ政府ノ最モ避ケント欲スルモノハ高利及發行價格ト償却價格ノ差異アルコト是ナリ此兩不便ヲ避クルノ方法尤モ講究セスンハアルヘカラス而シテ賢明ナル政府ニ於テ其負債ノ減少ヲ計ルハ勿論ナレハ平價或ハ殆ント平價ニテ發行スルハ終ニ於テ利益スルコト曩ニ論述セシモノニテ明ナリ是ヲ以テ之ヲ見レハ佛國ノ「ポールボン」復位ノ末路ノ借入千八百七十年以來ノ借入方ハ英國ノ「ピット」ノ時ノ借入法ニ勝ルコト万々ナリト云ツヘシ



六七二

平價若クハ殆ト平價コト公債ヲ募集スレハ少シク利子歩合ヲ高フスルコトナシトセス然リト雖其利益ハ己ニ論究セシ處ノモノコト明瞭ナリ然ルニ世ノ皮想論者ハ頻リニ低利ニテ平價以下ノ發行ヲ主張セテ已マス而シテ此論ヲ主張スルモノハ銀行者流ニ最モ多シ四海ノ廣キ人民ノ多キ此等論者ノ爲メニ誤ラレ、者又少シトセス豈ニ慨歎ノ至ニアラスヤ抑モ銀行者ハ巨万ノ資本ヲ有シ公債証書ノ價格利子ノ歩合ノ變動ニ依テ巨利ヲ得ント欲スルモノナリ加フルニ彼等ハ國事多端政府ニ於テ巨万ノ公債ヲ起スニ際シ屢々一時巨額ノ公債証書ヲ購入シ漸次市場ノ景況ニヨリ再賣ヲ試ミルモノナリ故ニ利子ハ彼等ノ目的トスル所ニ非ラス購買價格ト賣却價格ノ差異コソ彼等ノ目途トスル處ナレハ其尤モ價格ノ變動スルモノヲ好ムハ又決シテ怪シムニ足ラサルナリ(低利ノモノ、價格ノ變動スルハ初メヨリ名目上非常

七七二

ノ低利ナレハ世運益々進歩シ利子歩合高クナルハ低利公債証書平價ニナルコトハ殆ントナカルヘシ故ニ初メヨリ平價近クニナルマテ變動區域甚ク廣シ之レニ反シ高利ニシテ平價或ハ殆ント平價ナルモノハ其區域狹ク平價以上ニナレハ借換ノ舉アレハ變動隨テ少ナシ(彼等ハ其性質トシテ其所有公債証書ノ速ニ騰貴センコトヲ冀望スルモノナリ何ソ廣ク一般ノ財政上經濟上ノ關係ヲ顧ミルニ暇アランヤ彼等ノ論ニ曰ク六十六ヲ以テ三分利付ノ公債証書ヲ發行スルハ平價ヲ以テ五分ニテ發行スルヨリモ利子ノ歩合低シト是レ實ニ彼等ノ常ニ發スルノ言ナリ然ト雖是レ苟モ財政ヲ以テ自ラ任スル者ノ發スル言ニ非サルナリ彼等ハ投機ノ器具トナルモノヲ欲スル者ナリ然リト雖彼等又人類ナリ豈ニ外面裝飾ノ術ヲ知ラザランヤ故ニ彼等ハ決シテ吾人ハ投機ノ器具ヲ欲スルト云ハス平價以下ノ發行法ハ利子ヲ低減スルノ



利アリ特ニ之ヲ英佛ノ歴史ニ証スルニ永遠公債ハ必スシモ之ヲ償却  
 スルヲ要セス金銀ノ低落スルト國富ノ發達トヨリ大ニ其負擔ヲ輕  
 フストノ説ヲ唱ヘテ利己ノ策ニ基スルノ説ヲ蔽ハントスルモノ、如  
 シ其論ヤ決シテ理ナキニ非ス其論境ノ達スル所迄ハ過ナシト雖之ヲ  
 以テ論旨ノ真境ニ達セシモノト云ヒ難シ抑モ金銀ノ交換價格ヲ落シ  
 國富ノ發達セシハ第十九世紀ノ第三期(二十五年ヲ以テ一期トス)ヨリ  
 甚シキハナシ是レ「キヤリフォルニヤ」及「濠斯地利」於テ古今未曾有ノ  
 大金坑ノ發見アリシト智力ノ進歩トニ由リ海陸運送ノ便ヲ開通シ商  
 工ノ業及銀行其他信用ノ組織驚クヘキ發達ヲナセシニ由ルモノニシ  
 テ此非常ノ形狀ヲ以テ未來ヲ推スハ思ハサルノ甚シキモノナリ試ニ  
 佛國ノ千八百二十六年ト全七十六年トニ比較シ國民ノ財產ノ増加ヲ  
 見ニ之ヲ貨幣ニテ積レハ三倍以上ノ増加ヲ示セリ即チ千八百二十六

年ニハ遺傳稅十三億三千七百五十万フランナリシト雖千八百六十七年ニ  
 ハ四十七億五百万フランニ増加セリ是固ヨリ精密ナル査定法トナス能  
 ハスト雖又以テ其一班ヲ窺フニ足レリ斯ノ如ク非常ノ景況アリシニ  
 ヲリ佛國モ能ク其國債ノ重キニ堪ヘ歲出ヲ増加スルヲ得シナリ若シ  
 是レナカリセハ大ニ其重キニ苦ムヘシ勿論金銀ノ交換價格ノ低落國  
 富ノ發達増加ハ自然ノ勢ニテ世ノ進歩ト相伴フモノナリト雖千八百  
 五十年ヨリ全七十五年ニ至ルノ一期ノ如ク驚クヘキ増進ヲ呈セシハ  
 從來曾テ見サル所又將來ニ於テモ之ヲ期スルコト能ハサル所ナリ况  
 ヤ平價ノ者ハ借換ノ尤モ容易ナルモノナルニ於テヲヤ是レ余輩ノ平  
 價發行若クハ平價近キ發行ヲ希望シ已マサルノ一理ナリ夫ノ平價以  
 下ノ發行ヲ主張スルモノハ非常ヲ經常トシ一班ヲ窺ヒ得テ全豹ヲ見  
 ルコト能ハサルノ党ナリ然ラサレハ利己ノ精神ニ蔽ハレテ他ヲ顧サ



ルノ貪慾無情吾人ノ尤モ容レサルノ党ナリ特別ノ形狀アリテ平價以下ノ發行國費ノ減少ヲ助クルノ實アルニ非サレハ此説ヲ唱フモノハ愚ニ非サレハ即貪眞理ヲ愛スルモノト日ヲ同フシテ談スルモノニ非サルナリ

右ニ説ク所ノモノハ重ニ永遠公債ノ發行ニ係ルモノナリ有期定期額仕拂法ニ於テモ亦平價以下ノ發行ナキニ非ス請フ少シク其利害ヲ弁セシテ元來有期定期額拂ナルモノハ永遠公債ノ如ク其償却ヲ永遠ニ期スルモノニ非ス何年ニハ幾分何年ニハ幾分ト額ヲ定メテ償却シ若干年中ニ悉皆拂ヒ盡スコトヲ期スルモノナレハ債主ハ僥倖ニモ己レ第一或ハ第二ノ償却ヲ得テ發行價格ト償却價格トノ差異ニ由テ大ニ利スル處アラント欲シ發行額カ期スル如ク幾分カ低利ニテ出金スルコトアルヘシ(利子ハ平面ニテハ尤モ低シ其實際拂込シ高ニ對シテモ少シク低

シ之ニ發行價格ト償却價格トノ差ヲ償却迄ノ年利ニテ割リ其高ヲ實際ノ拂込高ニ對スル利子ノ歩合ニ加ヘシモノカ債主カ眞ニ報酬トシテ負債主ヨリ受取ル所ノ高ナリ此高ハ平價ニテ發行セシ公債ノ利子ヨリ少々低キヲ通例トス若シ斯ノ如クシテ二十ヶ年若クハ三十ヶ年ニシテ悉皆償却スヘキ公債ヲ割合ニ低利ニ借入ルコトヲ得ハ此法モ或ハ害ナカラシ然レモ二十年若クハ三十年ノ内ニハ借換ノコト又施行シ難キニ非ス故ニ此法ハ徒ニ手數ヲ増スニ止ルナキヲ得ス)

若シ實收高ヲ減シ利子ヲ減少スルヲ好マハ實收高ヲ減少シ無利子ニテ借入レハ彼ノ黨ハ大ニ之ヲ喜フヘシ而シテ無利息ニテ金ヲ借ルコト決テ難ニ非ス請之ヲ弁センモシ百圓ノ公債証書ヲ五十圓ニテ發行シ五年以内ニ抽籤ニテ償却スト云ハ、世ノ資本家ハ續々買入ヲ請求スヘシ平價以下發行ヲ主張スルモノ、説フ此点迄推ストモ決テ論理上



妨ナカル可シ彼等ノ説ハ低利ハ措テ問ハス無利息ニテモ借入ルコトノ  
 出來ル一箇ノ魔術ナリ故ニ何處カニテ尾ノ先否尾ノ根カラ化ノ皮カ  
 顯ハル、ナリ狐狸ノ化物ハ開明世界ニテハ狂者ヲ欺クニ足ルヘシト  
 雖決テ眞理ヲ解スル者ヲ欺クコト能ハサルナリ  
 償却價格ト發行價格トノ差異ヨリ出ル所ノ利益ノ外更ニ關引ヲ以テ  
 特別ノ利益ヲ債主ニ與フル者アリ關引ヲ以テ利ヲ僥倖ニ得セシムル  
 ハ固ヨリ好マシカラヌ事ナリト雖此法モ次ノ條項ニ違背セサレハ強  
 テ有害ノ者ト云ヒ難シ

第一籤付公債證書ヲ買入ル者カ早晚其資本ヲ復スルコト  
 第二關引ニ當ラサル者ト雖厄少々ノ利子ヲ受取ル事ヲ得ルコト譬  
 ハ市場ニ於テ五分又ハ六分ナル時ハ三分又ハ四分  
 第三當籤者ノ得ル所ノ金額ハ二三ノ人ニ僥倖シテ巨大ノ財産ヲ得セ

シメサル様五百或ハ千或二千若クハ三千圓位ニテ未タ坐食スルコ  
 足ラス之ヲ以テ一小業ヲ起スノ資本トナル位ノ高ナルコト  
 斯ノ如クナレハ即チ出金者ニシテ其資本ヲ失ハス或ハ少々ノ利子ヲ  
 得ヘク又僥倖ヲ以テ巨利ヲ得他人ノ膏血ヲ以テ無爲徒食ノ党ヲ養生  
 スル事ナク爲メニ貯蓄ヲ獎勵スルコトナキニシモ非ラス又經濟中ノ一  
 魔藥ト云ツヘシ而シテ負債主ニ於テモ非常ノ低利ニテ借入ル、コトヲ得  
 當籤者へ仕拂フ高ト差引勘定ヲ爲スト雖幾分乎市場ノ歩合ヨリ低ク  
 借入ル、コトヲ得ヘシ故ニ此方法ハ巨大ナル高ク借入ル爲メニハ用ヒ  
 難シト雖一時少々ノ高ク借入ル、ニハ或ハ他法ニ勝ルノ便利アラシ  
 籤札附公債ノ利害及其道德上ノ關係ハ往々世人ノ論弁ニ涉ルモノニ  
 シテ未タ確定ノ論ヲ見ス故ニ今進ンテ之ヲ論究スルモ敢テ無益ニ非  
 サルヘシ(此事ニ付テハ)シハリエヤ氏曾テ千八百七十年佛國元老院ニ



報告セシモノアリ其論緻密殆ント漏ス所ナシ尙委細ヲ知ラント欲セ  
ハ之ニ就テ見ルヘシ

此類ノ公債ヲ不可トスル者ハ重ニ法律家ト道德家ナリ彼等各其不可  
ヲ論スト雖其本分ノ眼ヲ以テ之ヲ論シ其論旨ヲ異ニスルナキヲ得ス  
請今道德家ノ論スル所ヲ論究セン彼等ハ此類ノ公債ハ勉強ヨリ外ニ  
富ヲ得ルノ道アルヲ人民ニ教示スル者ナレハ人民ヲ正道外ニ誘引  
スル嫌アリト論シ彼ノ有名ナル「フランクリン」氏カ勞力者ニ告ケシ語  
即チ「人アリ汝ニ勉強ト儉約ヨリ外ニ富ヲ得ルノ道アリト教示セハ之  
ヲ以テ汝ニ毒ヲ與フ者トセヨ」トノ確言ヲ引キ其論據トナシ此類ノ公  
債ハ人民ノ思想ヲ感動シ其風儀ヲ乱ル者トス是決シテ一理ナキニ非  
ス殊ニ「フランクリン」氏ノ説ノ如キハ大体上ヨリ論スルハ千古ノ金言  
ナリト云ツヘシ然リト雖道德者ノ此事ヲ論スルヤ又過實ノ譏ナキヲ

得ス凡ツ人間ノ事千緒方端勉強儉約才智ノミヲ以テ一箇人ノ富ヲ得  
ルノ方便ト云ヒ難シ固ヨリ大体ヲ以テ之ヲ論スレハ此三者ハ富ヲ得  
ルノ方便ニシテ此三者ハ亦求メテ得難キニ非ス然リト雖僥倖モ亦富  
ヲ得ルノ一方方便タルハ少シク活動世界ノ情況ニ注意スレハ敢テ疑ナ  
容ル、コト能ハサルモノナリ僥倖ノ元素ヲ人間ノ活動世界ヨリ放逐  
スルハ是レ「ストイツク」流ノ頑固世界ニシテ吾人俗人世界中ニシテ決  
シテ望ムコト能ハサル所ノ者ナリ而シテ人間世界ニ於テ又人情ナル  
モノアリ夫レ情實ヲ汲ンテ之ヲ公事ニ及ホスハ天下ヲ紊乱スルノ基  
ナリト雖人民相互ノ關係ニ於テ人情ノ働キ又之無キヲ得サルナリ四  
海ノ廣キ人情ニ頼テ世ニ存在スルモノナキヲ得ス此等ノモノハ只其  
生計ヲ勉強ニ特ニ之ヲ儉約又ハ智力ニ特ムト云ヒ難シ是レ余輩カ道  
徳家ノ此事ヲ論スル過實ノ譏ヲ免レスト斷言セシ所以ナリ而シテ薄



資ノ細民勞力者家僕其他ノ者カ万一ノ僥倖ヲ得ント欲シ儉約ヲナシテ少々ノ金員ヲ貯蓄スル亦何ノ妨カ是アラン道德者流或ハ云ノ利ヲ得テ而シテ喜フ者ヨリ少シ之ヲ失フテ憂フル者多シト是或ハ然ラン然リト雖當簽セサルモノト雖決シテ其資本ヲ失フニ非ス只コ少々低キ利子コテ満足セサルヲ得サルノミ而シテ其初メ貯蓄ヲナシテ僥倖ノ利ヲ得ント欲スルノ樂シミハ之ヲ失フノ失望ヨリ多シ彼等又曰此類ノ公債ハ勞力者ヲシテ心ヲ努力ニ致スノ念ヲ薄クスト是決ノ然ラス此僥倖ヲ得ント欲セハ固ヨリ資本ヲ有セサルヲ得ス之ヲ得ルニハ只コ勞力ト辛抱ニアルノミ故ニ此類ノ公債ハ勞力ト辛抱ヲ獎勵スルノ實アリ佛國伊國ニ於テ質朴純良ノ民ニシテ未タ通例ノ公債証書ノ利ヲ知ラサル者此類ノ公債証書ヲ買ハント欲シ殊ニ儉約ヲ力ムルハ掩フヘカラサルノ實跡ナリ此類ノ公債ハ貯蓄ノ美風ヲ社會ノ下層ニ及ホスノ

一方法ト云テ敢テ妨ナカルヘシ方今文運増々進ミ細民稍々貯蓄ノ精必ヲ起スノ時ナレハ彼等ヲシテ一般公債証書ノ利益ヲ知ラシムルハ只ニ經濟上ノミナラス政界上亦緊要ノ事ナレハ(一般人民ノ公債証書ヲ所有スルコト多ケレハ隨テ政府ノ鞏固ナルヲ冀ヒ併テ社會ノ秩序ヲ尊フ)先利益ノ最モ看易キモノ之ヲ誘導シ漸次一般ニ公債ノ利益ヲ知ラシムルハ財政上ノ一計畧ナリト云ツヘシ而シテ方今ノ實況ヲ見ルニ佛國下等人民ノ最需要スル所ノ公債証書ハ巴里府發行及土地銀行發行ノ籤札付負債証書又ハ土耳其古公債ノ非常ニ高利ナル者ナリ今試ニ彼ノ頑固ナル論者ニ右ノ二者ノ内何ヲ以無害ナルモノトスルヤト尋テハ彼等ト雖第一種ノ者無害ナリト答フヘシ夫レ貯蓄ハ一人一箇ノ安寧ヲ起スノ基ニシテ又富國ノ源泉ナリ此美風ヲ獎勵スルハ最モ緊要ニシテ又尤モ難シ關札付公債ノ事少シシ德義上ノ嫌ナキヲ得ス



ト雖苟モ利益ノ之ヲ償補シテ尙餘リアル者アレハ又何ソ一時ノ方便トナスヲ憚ラン哉此美風ヲ獎勵スルニ當リ只ニ四分若クハ四分半ノ利子ヲ約スルヲ以テ未タ以テ充分トスルコト能ハス實利ト思想ノ利ヲ以テ之ヲ導ク亦一時妨ナキノ策密ナリト云ツヘシ而シテ此類ノ公債ヲ發シ陳述セシ所ノ廉々ニ注意シ發行スルニ於テ此兩者ヲ併用スル亦難カラス而シテ天下ニ僥倖ナキ能ハス廉價ノ土地ト雖市街ノ起リアリ道路ノ開鑿アル等ニヨリ非常ニ高價トナルモノアリ殆ト廢棄スヘキノ坑山一朝大礦ヲ發シテ大ニ其價ヲ増ス等アリ此等ハ自己ノ勉雖辛抱ノミニ由ラスシテ其財産ノ價格ヲ増加スルモノナリ是等ノ例枚舉ニ暇アラス此等ハ皆巨利ヲ僥倖中ニ得ルモノナリ道德上ニ於テハ何ソ此類ノ公債ト異ナランヤ實際上下ニ述カ如キ利益アルニモ抱ハラス道德ヲ以テ獨リ此類ノ公債ヲ發ムルハ却ツテ道理ニ背戻ス

ルモノト云ツヘシ

法律家ノ論ハ一般法律ノ精神殊ニ佛國現行法律ニ因ルモノニシテ遙カニ道德家ノ論旨ヨリ勢力アルモノ、如シ彼等ノ説ニ曰ク圖引ヲ以テ利ヲ僥倖中ニ得ルハ方今開明諸國ノ禁スル所ニシテ佛國ノ如キハ千八百三十六年ノ法律ヲ以テ殊更ニ之ヲ禁セリ政府カ一個人民ニ禁スルモノヲ以テ自ラ冒シ且ツ之ヲ會社ニ許スハ果シテ何事ソ是レ實ニ正々堂々ノ論ナリ彼千八百三十六年ノ法律ノ第二條ニ曰籤引ヲ以テ僥倖ヨリ出ツル利益ヲ與フル所ノ動產不動產若クハ商品ノ賣買其他一般ニ公衆ニ僥倖ヲ以テ利益ヲ得ヘキ望ヲ與フル舉行ハ之ヲ籤引ト見認テ一切之ヲ禁止スト由是觀之レハ佛國政府ハ私ニ德利ヲ與フルノ籤引ヲ禁止セシヤ敢テ疑ヲ容ルコト能ハサル所ニシテ此禁制タル實ニ緊要ナルモノト云ハサルヲ得ス如何トナレハ斯ノ如キ舉行ハ



○九二

重ニ熟練家ト素人中ニ行ハル、モノナレハ双方全等ノ位置ヲ占ムル  
モノト云ヒ難ク第一ノモノハ殆ト常ニ利スル所多ク屢々此舉行アレハ  
人心爲メニ安ンセス殊ニ其掛金僅少ナレハ勞力社會中或ハ眞正ノ貯  
蓄ヲ失フニ至ラン然ト雖先キニ余輩ノ陳述セシ廉々ニ注意セハ又此  
ノ如キノ不都合ナカルヘシ彼有名ナル「シバリエヤ」氏モ簽引ハ第一僥  
倖ニ依テ利ヲ多數ニ剝奪シ之ヲ少數ニ與フルモノナリ第二簽札發行  
者ト其買入人トハ平等ノ地位ヲ占ムル能ハス其利益ヲ得ルノ機會ハ  
發行者ニ多クシテ簽札買入人ニ少シトノ説ヲ以テ闕引ヲ駁撃セリ然  
リト雖是レ必竟簽引ノ組織如何ニヨルコトニシテ全氏ノ説ヲ以テ未  
ダ遽ニ一般ニ簽引ハ惡シキモノナリト云ヒ難シ先キニ余輩カ陳述セ  
シ處ノ條項ニ注意セハ多數モ決レテ其資本ヲ失フコトナク市場ノ歩  
合ヨリ低シト雖少々ノ利子ハ之レヲ得ヘク特ニ之ヲ非難スルコト能

一九二

ハサルナリ今實際ニ就テ千八百六十五年巴里府ノ此法ニヨリ起セシ  
三億フランノ公債証書發行ノ方法ヲ看ルニ彼等ハ一般ニ呼價之レハ  
何程ナルヤ之ヲ記載スル書類ヲ得スニ對シテ四分ヲ拂ヒ當簽ノモノ  
ニハ呼價百フランニ付テ年々三十六サンナーム半ヲ與フルノ簽札付  
ノ公債証書ヲ發行セリ故ニ簽札付公債ト雖債主ニ非常ノ利益ヲ與フ  
ルモノニ非ス當簽者ノ得ル所ノモノハ利子總額ヨリ遙カニ低ク是レ  
ト比スレハ十二分ノ十ニ足ラサルモノナリ是レヨリ以前ニ巴里府カ  
此法ニ據リ起セシ公債當簽者ノ利益利子總額ノ八分ノ一ニ止マリ千  
八百六十三年土地銀行ノ發行セシモノハ十一分ノ一ナリシト云フ此  
方法ニ據テ關札付ノ公債証書ヲ發行スルニ於テ敢テ弊害ヲ醸成スル  
コト勿ルヘシ然レモ當簽者ニ於テ不當簽者ノ拂込シ資本ノ總額若ク  
ハ其大部分ヲ得殊ニ其額巨大ニシテ爲メニ遊食ノ徒ヲ増加スルカ如



キコトアレハ此類ノ公債ハ甚タ有害ナルモノナリト云フヘシ  
以上陳述スル處ヲ以テ見レハ闡引法ト雖其方法ヲ得ハ必スシモ有害  
ナルモノト云ヒ難シ今又如何ノ方法ニ從ハ、此法モ果シテ害ナキヲ  
論述セン

第一闡引付ノ公債証書ニハ必ス利子ヲ付スヘシ其歩合ハ一國通例ノ  
歩合ヨリ少々低クスヘシ

第二當簽者ノ利益ハ政府カ年々闡札付公債ノ利子ノ低キカ爲メニ得  
ル所ノ利益ヨリ少々少額ナルヲ要ス

第三元金ハ必ス拂込高ヨリ下ラサル高ヲ以テ償却スヘシ其期限ハ余  
リ永カラサルヲ要ス

第四當籤高ハ決シテ一人ニ巨大ノ財産ヲ與ツカ如キ巨額ナラサルヲ  
要ス

第五闡引ハ屢々之ヲ施行セヨ年ニ二回ヲ極度トスヘシ(此公債証書ノ

所有者ヘハ六月ト十二月闡引ヲナシ特別ノ利ヲ得ルモノトスヘシ  
右ノ五点ニ注意シ闡札付公債ヲ發行スレハ拂込元金ヲ失フモノナク  
之レカ爲メニ貧窮ニ陥ルモノナク又僥倖ヲ以テ巨大ナル財産ヲ得ル  
モノナク或ハ貯蓄ヲ獎勵シ國家財政ノ一助トモナルヘキナリ然リト  
雖此事タル動モスレハ濫用ニ流ル、ノ性質アレハ之ヲナスハ中央政  
府ニ限リ地方政府ハ其許可ヲ得テ后之ヲ行フヲ得ルモノトセハ又濫  
用ヲ防クノ一方便ナラン彼ノ土耳其瀛車會社發行ノ籤札付ノ公債証  
書ノ如キハ一口六十万フランノ巨額ニ上リ「バルレタ」府發行ニ係ルモ  
ノ、如キハ元金僅ニ二十「フラン」ニシテ利子ヲ拂ハサルモノナレハ  
共ニ便利ナルモノト云ヒ難シ利子ヲ拂ヘハ低利ハ即チ低利ナリト雖  
尙人民ヲシテ貯蓄ノ貴フヘキヲ知ラシムルニ足レリ此類ノ公債ニシ



四九二

テ其方法ヲ得ハ必シモ弊害アルコトナク或ハ財政上ノ一魔藥トナル  
 ノ便アルハ己ニ説キシ如シト雖此方法モ又亦不便ナキヲ得ス第一コ  
 此法ニ據リ巨額ノ公債ヲ起スハ策ノ得タルモノニ非ス若シ此法ヲ以  
 テ巨額ノ公債ヲ起サハ必ス大資本家ノ力ヲ借ラサルヲ得ス若シ此類  
 ノ公債ニシテ彼等ノ手ニ玩弄セラル、ニ於テハ彼等巨万ノ資本ヲ以  
 テ投機賣買ヲナスハ必然ナレハ利害ノ關ル所甚ク廣ク或ハ僥倖ニ  
 巨万ノ財産ヲ得ルモノアリテ富ノ配當其宜シキヲ失ハシ又此方法ハ  
 先ニ説キシ如ク細民ノ貯蓄心ヲ獎勵スルノ一器具ナレハ大ニ之ヲ舉  
 行シテ富民ヲシテ之ヲ預カラシムルヨリモ富民ニハ重ニ通常ノ公債  
 證書ヲ取扱ハシメ細民ニ之ヲ取扱ハスル方旁便利ナラン又盛ニ之ヲ  
 舉行スレハ政府ニ於テ之ヲ取扱フモ通例ノ公債ヨリ手數ヲ要スレハ  
 費用モ隨テ増加スヘシ而シテ巨大ノ公債ハ中々五十年百年ヲ期シテ

五九二

皆悉償却スルコト能ハサルモノナレハ高利ニテ借入レ后ニ借換ヲナ  
 スコトヲ容易ナル様ニ借リ置テ要ス然ルニ此法ハ借換ヲナスニハ不  
 便ナレハ巨大ノ額ヲ借入ル、爲メニ用ユヘキモノニ非ラス管ニ財政  
 上ノ一助トシテ用ユヘキモノナリ第二ハ此方法ハ到底徳義ノ本心ニ  
 負クモノナレハ人民ニ於テ政府ニシテ簽引ヲ舉行スル以上ハ我々モ  
 之ヲナシテ妨ナカルヘシトノ念ヲ起サシメ譬ヘハ平面上ヨリ之ヲ禁  
 スルモ隱然之ヲ獎勵シ陽ニ法律ニ從フト雖陰ニ之ヲ拒ミ所謂法律カ  
 道徳ノ補助ヲ失フノ嫌ナキヲ得ス且ツ開明ノ度未タ高カラス人民心  
 ニ僥倖ヲ期スルノミナラス之ヲ神佛ニ祈ルカ如キ國ニ於テハ大ニ人  
 民ノ勉強力ヲ減殺シ或ハ時間ノミナラス在來ノ財産迄モ爲メニ失フ  
 コトナキヲ保セス故ニ此法ヲ施行セント欲スルモノハ管ニ財産上ノ  
 ミナラス社會上宗旨上ヨリ大ニ之ヲ考究セサルヲ得サナリ



## 國債論卷ノ四

## 公債証券發行方法

前數卷ニ於テ余輩ハ國債ハ如何ナルモノナルヤヲ論シ其募集ノ方法ニ付テ得失ヲ論究セリ故ニ此卷ニ於テハ其發行ハ政府如何ナル方法ヲ用ユヘキカヲ論究セン勿論茲ニ論スル所ノモノハ通常ノ國債ニテ彼ノ強迫借入ナル者ニアラサルナリ今如何ニシテ政府ハ公債証券ヲ發行シ得ルヤヲ論究セン

第一ニ如何ニシテ政府ハ資本家ニ其需要ヲ知ラシメ能フ哉銀行家ヲ仲人トシテ政府ト一般資本家ノ間ニ周旋セシムヘキヤ或ハ事ヲ公コセス銀行家ノ輩ト條約ヲ定メ直ニ需用スル金額ヲ借入ヘキヤ或ハ公コセ大ナル資本家一般ニ証券ヲ公賣スルヲ得ルヤ或ハ銀行家ノ如キ仲人ヲ用ユルコトナシニ直接ニ一般公衆ヨリ金員ヲ借入ルコトヲ得ヘキ



第二ニ政府ハ直ニ借入ルヘキ高ヲ要スルヤ又ハ拂込ニ若干ノ猶豫ヲ與フルヲ得ルヤ若シ之レヲ與フルヲ得ルトセハ其高ハ若干ニシテ時間ハ幾許ナルヤ政府カ此公債ニ付テ負フ所ノ義務ト有スル處ノ權理ハ幾許ナルモノナルヤ政府ハ如何ニシテ此權利義務ヲ全フレ得ルヤ」第三ニ政府ハ何故ニ公債ヲ起スヲ要スルヤ公債ハ如何ナル利益ヲ政府及債主ニ與ヘ如何ナル影響ヲ一般財政上殊ニ歳入上ニ及ホシ得ルヤ現在ノ歳入ヲ以テ公債ヨリ起ル所ノ費用ヲ支ルコトヲ得ルヤヲ論定セサルヲ得サルナリ

今一步ヲ進メテ此等ノ要点ヲ詳論セン抑モ公債証書發行ニハ種々ノ方法アリ或時ハ政府銀行家輩ヲ組合トシ是レニ公債証書ヲ賣渡シ彼等ハ後漸次之ヲ公衆ニ再賣ス或時ハ政府直ニ公衆ニ布告シ定價ヲ以

テ定日ニ証書ヲ需用者ニ賣渡ス此二ノ者ハ共ニ諸國ノ施行スルモノナリ然レヒ三十年以來諸國ニ於テ最モ施行セラル、モノハ第二ノ者ナリ又四五年以來新法ノ最モ忌ムヘキモノヲ顯出セリ此方法ハ政府ハ公ニ公債募集ノ手續ヲ爲サス直ニ自ラ証書ヲ市場ニ賣出スモノニシテ政府ハ自在ニ其入用ノ金額ヲ得ルコトヲ得ヘシ若シ斯ノ如キノ方法ヲ許セハ決シテ政府ノ專斷ヲ防クノ道ナカルヘシ政府カ公債ヲ起スニ際シ仲人ヲ用ユルト用ヒサルトハ互ニ一得一失アリテ必シモ之ヲ用ユヘシ又之ヲ用ユヘカラスト云ヒ難シ請フ少シク之ヲ辨セン公債ヲ起スニ際シ銀行家ノ組合ノ如キ仲人ヲ用ユルノ利一ニシテ足ラス

第一政府ハ其借入レント欲スル所ノ高ハ必ス之ヲ得ヘシ如何トナレ

ハ銀行組合ハ其調達ノ責ニ任ンスヘケレハナリ



〇〇三

第二政府ハ直ニ其借入ントスル高ノ金額又ハ殆ント其全額ヲ得ヘシ如何トナレハ銀行組合ハ一時其高ヲ繰替ルコトヲ得レハナリ

第三銀行者ハ貨幣市場ノ實況ニ明ナルモノナレハ政府カ直接ニ借入ル、ヨリ証書ヲ少々高キ割合ニテ引受ルコトアルヘシ(若シ政府直接ニ証書ヲ賣出セハ銀行者流ハ一般公衆ト競ヒ純然タル買手トナル故ニ或ハヒ其仲間中ニ鯨ヲ結ヒ非常ニ其價格ヲ落スコトアルヘシ)

此等ノ利益ハ實ニ少々ニ非ルナリ然ルニ此方法ヲ好マサルモノ、論ニ曰ク銀行組合ハ初メ政府ヨリ借入レシ價ヨリ遙ニ高キ價ニテ公債証書ヲ再賣ス是レ政府ノ爲メ又ハ公衆ノ爲メニ利益ナク高キ手数料ヲ貪ルト全一ニシテ直接ニ政府カ募集スルヨリモ其費用却テ多シト是等ノコト或ハ其實ナキニ非ラスト雖政府急ニ金員ヲ得ント欲セハ

此方法ニ由ラサル可カラス又世ニ二三ノ銀行ノミアレハ彼等或ハ非常ノ低價ニ買ヒ非常ノ高價ニ再賣スルコトアルヘシト雖方今銀行ノ多キ必ラス二三ノ大銀行ノ組合カ政府及公衆ノ損失トナルカ如キ例外ノ儲ヲナスコト能ハサルヘシ

仲人ヲ用ユル場合ニ於テハ仲人ハ引受人及割引人ノ位置ヲ占ムルモノト云ツヘシ如何トナレハ彼等ハ或歩合ヲ以テ政府カ起サント欲スル處ノ國債全額ノ拂入ヲ引受ケ一時其全額又ハ殆ト其至高ヲ繰替置キ利益ヲ以テ公衆ニ再賣ヲ試ミルモノナレハナリ此方法ハ信用薄キ政府ニシテ急ニ巨額ノ金員ヲ要スルモノニハ甚タ便利ナリ佛國ニ於テモ其例ナキニアラス彼ノ「モーガン」公債ノ如キハ即チ此類ナリ

一〇三

仲人使用ノ法ニ二種アリ

第一公賣ヲ爲サス銀行又ハ資本家ノ組合ト約ヲ定メテ公債証書ヲ彼



三〇二 等ニ賣渡スモノ

第二何月何日或方法ヲ以テ公債証書ヲ賣出スヲ公告シ銀行家或ハ其  
他ノ資本家ノ組合中尤モ高價ニ之ヲ買入ントスルモノニ之ヲ賣渡  
ス方法ナリ此第二ノ方法ハ屢々實施セラル、モノニシテ第一ノモ  
ノヨリモ事ヲ公ニシテ諸資本家之ニ關係スルニ由リ當時ノ市場ニ  
ハ適當ナル價格ヲ以テ証書ヲ賣捌クコトヲ得ヘシ然レモ公債ノ價  
格ヲ定ムルハ甚々困難ナルモノニシテ此場合ニ於テハ政府自ラ其  
最高價ヲ見出サ、ルヲ得ス政府若シ不當ニ高ク之ヲ定ムレハ公債  
ノ募集ニ應スルモノナキヲ恐レ余リ低ク發行價格ヲ定ムル憾ナキ  
ヲ得ス是レ第二ノ方法ノ不便ナル所ナリ  
仲人ヲ用ヒサル方法モ公賣ヲ試ミサハニ非ス此場合ニ於テモ銀行組  
合等カ政府ヨリ証書ヲ買受ケ之ヲ公賣スルコトナキニ非ス只此場合

三〇三

ニ於テハ政府カ自ラ公衆へ直ニ公債証書ヲ賣出スモノナリ信用ノ厚  
キ政府ニシテ急ニ巨額ノ金員ヲ要セサルトキハ仲人ヲ用ヒサル方或  
ハ便利ナルヘシ如何トナレハ仲人ニハ多少ノ手数料ヲ與ヘサルヲ得  
サレハナリ然レモ政府急ニ巨額ノ金員ヲ要スルトキハ其政治上或ハ  
財政上必ラス急ヲ告クルノトキナレハ信用モ平常ヨリ厚シト云ヒ難  
ク一國經濟モ平日ノ如ク裕ナル能ハサルノ時ナレハ資本家ノ力ヲ借  
テモソハ急ニ巨額ノ公債ヲ起スコト能ハサルヘシ  
右ニ説クカ如キ理由アルニ由リ一般ニ仲人ヲ用ヒサル方政府ハ高ク  
公債証書ヲ賣捌クコトヲ得然レモ此方法ニ據レハ政府公債ノ全額ヲ實  
收スルコトヲ得ス又急ニ金圓ヲ領收スルヲ得サルヘシトノ説ヲ唱フル  
モノ甚ナシトセス然リト雖仲人ナシノ發行方法ノ利不利ハ未タ遽ニ  
此ノ如ク論究スルコトヲ得ス其高價ニ証書ヲ發行シ得ト云フカ如キハ



四〇三

實地未タ之ヲ証スルコト能ハス或ハ却テ仲人ヲ用ユルヨリモ廉價ニ  
之ヲ賣出サ、ルヲ得サルコトナキヲ保セス實ニ政府ハ銀行者ノ如ク  
貨幣市場ノ景況ヲ審ニスルモノニ非ス故ニ其利子ノ歩合及証書ノ價  
格ヲ定ムルニ於テ想像ヲ用ヒサルヲ得ス若シ之ヲ銀行ニ下問スレハ  
彼等ハ仲人使用方法ノ如ク一手ニ之ヲ引受ケ利スル所ナク一般ノ資  
本家ト全様ノ位置ヲ占ムレハ必ス安ク價格ヲ告ケ割合ニ高ク利子ヲ  
告グルハ人情ノ然ラシムル所ナリ故ニ仲人ヲ用ヒサレハ却テ廉價ニ  
証書ヲ賣ラサルヲ得サルヲ得サルコトナキヲ保セサルナリ又仲人ヲ  
用ヒサレハ資本家ハ自身ニ巨額ヲ引受ケテ利益スルコトナキニヨリ  
各一般ノ賣入人ト全様ノ位置ヲ占ムレハ彼等ノ中ニ競争ナク皆其利  
ヲ一ニスレハ彼等ノ申合ヲ以テ貨幣市場ヲ左右スルヲナキヲ保セフ  
仲人ヲ用ユレハ彼等ノ内ニ競争ヲ惹起スヘケレハ相當ノ價格ニテ之

五〇三

テ發行スルコトヲ得ヘシ又仲人ヲ用ヒサレハ公債証書ハ之ヲ用ユル  
ヨリモ速ニ細民ノ手ニ落ツルトノ説アレトモ是レ亦充分ニ實ヲ得タ  
ル説ニ非ス何レノ場合ニテモ初メヨリ新ニ行發セシ公債証書カ細民  
ノ手ニ落ツルコト少ク初メハ資本家カ或ハ其實力或ハ其信用ヲ使用  
シ巨額ヲ買ヒ入レ漸次ニ市場ノ景況ヲ窺フテ之レヲ再賣スルヲ常ト  
ス故ニ仲人ヲ用ユルモ之レヲ用ヒサルモ証書ノ一般公衆ニ達スルハ  
遲速ニ至テ著シキ差異ナカルヘシ而シテ斯ノ如ク銀行ノ仲入ヲナス  
ハ決シテ惡シキモノニ非ラス彼等ハ公債募集ノコトヲ外國資本家ニ  
通知シ彼等ノ出金ヲ促スヲ以テ爲メニ一國流通資本ヲ急ニ減少スル  
コト少ク却テ大ニ經濟ヲ調理スルモノト謂ツヘキナリ  
茲ニ於テ之ヲ見レハ仲人ヲ用ヒサレハ証書ハ速ニ細民ノ中ニ廣カリ  
發行價格モ仲人ヲ用ユルヨリ高カルヘシト云フハ未タ必スシモ然リ



三〇六

ト云ヒ能ハサルナリ然リト雖仲人ヲ用ヒサル方法モ其理ナキニ非ル  
ナリ其利トハ何ソヤ曰公債証書割合ニ多ク細民中ニ廣カルコト之ナ  
リ今如何ニシテ此事ヲ爲シ得ルヤト尋ヌルニ細民ノ申込ミヲ無減少  
ト定ムルコト是ナリ請フ少ク之ヲ弁セン  
己ニ陳述セシ如ク政府カ直接ニ証書ヲ發行スルトキハ其募集ニ應ス  
ルモノナキヲ恐レ實際ノ景況ニ適スルヨリモ低價ニ証書ヲ發行スル  
コト多ケレハ其發行后價格ノ増加スルヲ殆ント必然ニシテ發行價格  
ニテ可成巨額ヲ得ント欲シ大小ノ資本家及細民ノ僅少ノ貯蓄ヲ有ス  
ル者ハ先ヲ争ヒ或ハ實力或ハ信用ヲ使用シテ實際拂込ニ能ハサル高  
チ申込ミ共高募集セント欲スル高ヨリ超過スル往々ニシテ是アリ斯  
ノ如キ時ハ申込高チ募集スヘキ高ニ比較シテ比例ヲ以テ減少セサル  
ヲ得ス此時ニ政府ハ細民ノ申込ハ無減少ト定メ細民ニハ申込高丈ヲ拂

三〇七

込マシメ資本家ノ申込コノミ減少ヲ行ヘハ自然細民ノ手ニ落ル所ノ  
証書チ増加シ之ヲ細民内ニ廣クルコトヲ得ヘシ然ラハ即チ細民モ公  
債証書チ所持スルニ隨ヒ漸次其便利ナルヲ悟トリ其貯蓄ヲ以テ証書  
ヲ購求スル者多ク政府ト細民トノ關係益深密トナリ施政上ニ於テモ  
此事ハ甚タ好マシキ事ナリ而テ細民ノ公債証書ヲ買入ル者ハ之ヲ貯  
蓄ノ爲メニ所持セント欲スル者ナリ資本家ノ買入ルモノハ重ニ之  
ヲ投機ノ器具トセント欲スル者ナリ公債ノ高可成丈多ク第一種ノ用  
トナルハ又政府ノ力ムヘキ事ニ非ラスヤ斯ノ如ク論シ來レハ仲人ヲ  
用ヒサル方甚タ善キ者ニ似タリト雖此一点ノミヲ以テ公債証書ヲ發  
行スルニ際シテハ其實收高ト是ヨリ起ル所ノ義務ノ重サトチ比較シ  
其最モ輕クナル様ナル方法ヲ求メサルヲ得ス徒ニ利子チ高フシ或ハ  
發行價格チ低フシテ公債ノ義務ヲ重クスヘカラス而シテ此無減少ノ



八〇三

方法ハ發行法ノ如何ヲ問ハス實際上申込高カ募集スベキ高ニ超越スル時ニハ用ユヘキノ方法ナリ(細民ノ名ヲ以テ無減少ノ免許ヲ得ント欲スル者アルハ必然ナレハ之ヲ防クノ方法ナカルヘカラス)

「ナポレオン第三世ノ時ノ第一ノ大國債即チ千八百五十四年三月十一日ノ法令ニ據テ議定セラレタル二億五千万」フランノ公債ヲ募集スル時ニハ五十フラン迄ノ利子ヲ得ル丈ノ証書ノ買入ヲ申込ミシ者ニハ無減少ノ免許ヲ與ヘタリ當時申込高ハ募集スヘキ高ニ倍シ無減少ノ免許ヲ受シ者ハ六万四千四百八十八万一千フランニ上レリ是即チ申込高ノ殆ント十分ノ一ニシテ募集スヘキ高ノ殆ント五分ノ一ナリ而レテ彼等ノ申込高ハ一人平均凡ソ八百フランナリシ第二ノ大國債ハ千八百五十四年十二月卅一日ノ法令ヲ以テ議定セラレシ五億フランノ公債ナリ此度ハ一箇人ノ申込人ハ皆無減少トシ

九〇三

五百フランノ利子ヲ得ル丈ノ申込ヲ以テ無減少ノ極トセリ此度ノ申込高ハ募集スヘキ高ニ四倍シ無減少ノ部分ノミニテ己テニ募集スヘキ高ヲ超過シ其高實ニ八億五千五百万ニ達シ無減少ノ免許ヲ得シ人員十七万八百二十人ニ達セリ此例ヲ以テ之ヲ見レハ佛國ノ當時ニ於テハ五百フランノ利子ヲ得ル丈ノ申込ヲ以テ無減少ノ極トスルハ甚々高キニ失シ富民モ是ニ據テ利益セントセシニ似タリ茲ニ於テヤ第三ノ大國債即チ千八百五十五年七月十一日ノ法令ニ據テ議定シタル七億六千万フランノ公債ヲ起セシ時ハ無減少ノ極度ヲ利子五十フラント下定メタリ此度ノ公債モ申込額非常ニ多ク募集スヘキ高ノ殆ント五倍ニ達セリ而シテ無減少ノ免許ヲ得ヘキ小額ノ申込ハ二億三千二百万フラン即チ募集スヘキ額ノ三分ノ一ニ近ク其人員ハ二十二万三千二百六十二人ニ達セリ斯ノ如ク募集ニ應スル者度毎ニ増加シ無減少



ノ免許ヲ受ル者亦増進セシニヨリ千八百五十九年ノ五億二千五「フ」ラ  
 「ン」ノ公債ニハ無減少ノ極度ヲ「士」フ「ラ」ノ「ン」ノ利子トセリ茲ニ於テヤ其申  
 込高ハ一億七百萬「フ」ラ「ン」餘ニ減セリト雖人員ハ増テ五十三万八百九  
 十三人トナレリ實ニ是千八百五十四年殆ソト全額ノ公債ヲ起セシ時  
 ヲリ凡ソ三倍ノ増加ナリ無減少ノ極度ヲ斯ノ如ク減少セシト雖未ダ  
 其免許ヲ得ル人員ニ於テ減少ヲ見サリシ故ニ千八百六十四年ノ公債  
 ニハ之ヲ六「フ」ラ「ン」ノ利子ニ止メ千八百六十八年ノ公債ニハ之ヲ五「フ」  
 「ラ」ノ利子ニ止メタリ然レヒ人員尙減セス千八百六十八年ノ公債ニ  
 ハ無減少ノ免許ヲ得シ者六十七万二千九百三「フ」ラ「ン」其申込高ハ三分  
 利付六十九「フ」ラ「ン」二十五「サ」ン「チ」ムノ發行價格ニシテ七千七百五十  
 万「フ」ラ「ン」餘ニ上レリ勿論大ナル資本家モ細民ノ名ヲ借リテ無減少ノ  
 部内ニ入リシ者ナシトセスト雖ヒ斯ノ如ク度毎ニ無減少免許人ノ増

加セシハ漸次細民中無減少ノ利ヲ悟リ公債募集ニ應スル者ノ數ヲ増  
 加セシモノナルヤ亦疑ヲ容ル、コト能ハサルナリ  
 斯ノ如ク細民中ニ公債証書ノ所持人ヲ増加スルノ一助トナルニ於テ  
 ハ直接ニ國民一般ニ募集スルハ實ニ有功ノ者ト謂ツヘレ勿論銀行組  
 合ノ媒介ヲ以ツテ募集スルトモ彼等再賣ヲ試ミルニ當リ先取ノ權ヲ  
 細民ニ與ルノ方法ヲ設ケ能ハサルニ非ラスト雖國歩艱難人必騒然タ  
 ル時ニ當リ銀行一端公債証書ヲ買受後之ヲ公衆へ賣渡スヨリ政府直  
 接ニ之ヲ人民ニ募ルノ法或ハ愛國心ノ助ヲ得テ募集ノ容易ナルコト  
 ナキニ非サルヘシ此等ノ事ハ實ニ直接發行ノ利益ト云ハサルヲ得ス  
 然リト雖直接發行ノ法亦不利ナシトセス其不利トスル所ノ者ハ政府  
 動モスレハ市場ノ景況ニ適合スルヨリ廉價ニ証書ヲ發行シ之カ爲メ  
 ニ投機ヲ獎勵スルコト是ナリ果シテ然ラハ貯蓄ノ爲メニ公債ヲ買入



三、者ヲ利スルハ投機者流ヲ利スルヨリ少シ如何トナレハ新ニ發行  
スル所ノ公債証書ハ重ニ資本家ノ購買スル所ニシテ真正ナル貯蓄ノ  
爲メニ之ヲ購入スル者少キハ決シテ掩フヘカラサルノ實跡ナレハナ  
リ政府ハ銀行者ノ如ク貨幣市場ノ實況ヲ熟知スル者ニ非ラス故ニ十  
ノ八九ハ証書ヲ廉價ニ發行スルヲ免レス輒近佛國政府及巴里府ハ二  
分又ハ三分丈証書ヲ市場ノ歩合ヨリモ安ク發行セシ例一ニシテ足ラ  
ス千七百八十一年ノ巴里府ノ公債ハ實ニ取除ノ場合ニシテ斯ノ加ク  
發行格價ト市場ノ相場ト符合セシコトハ甚稀ナリ千八百七十四年ニ  
ハ全府五百「フラン」ノ四分利付ノ公債証書ヲ四百四十「フラン」ニ發行セ  
リ然ルニ是レヨリ數週間ニ土地銀行ハ全類ノ負債証書ヲ四百五十「フ  
ラン」ニテ發行セリ故ニ巴里府ハ四百五十若シクハ四百五十五「フラン」  
ニテ容易ニ發行スルヲ得シナルヘシ千八百七十六年發行ノ巴里府

ノ公債証書ハ右ノ者ト全類ニシテ四百六十五「フラン」ニ發行セリ此時  
「ボリユール」氏等ハ全年五月十三日刊行ノ巴里經濟雜誌ヲ以テ四百八十  
「フラン」ニ發行スヘキノ論ヲ主張セリ時ニ前々年發行ノ全類ノ公債証  
書ハ拂込ノ終ラサル者ニテ四百八十五拂込ノ終リシ者ハ五百「フラン」  
ノ價格ナリシニヨリ四百八十二ニテ新公債ヲ募集スル事ハ甚々容易ナ  
ル事ニテアリシ實ニ此公債ノ四百六十五ニテ募集セラレシ后八日十  
日ヲ經過シテ該公債ハ現ニ四百八十五「フラン」ヨリ四百九十「フラン」ノ  
間ニテ賣買セラレタリ斯ノ如クシテ巴里府ハ徒ニ三分餘ヲ失ヒシ者  
ト云ツヘシ

三、是ヲ以テ之ヲ觀レハ直接發行ノ方法ハ銀行家其他ノ大ナル資本家ニ  
大惠ヲ與フルモノト云ハサルヲ得ス彼千八百七十五年三十億「フラン」  
ノ佛國政府ノ公債募集ニ際シ四百三十億「フラン」ノ申込ヲナシ全年ノ



四一三

二億二千万フランノ巴里府公債募集ニ對シ九十億フランノ申込ヲナセシ者ハ果シテ誰ソ是即チ大銀行ニシテ政府カ仲人トナスヲ好マサル所ノ者ナリ然リト雖實際ハ仲人トナリテ安ク政府ヨリ証書ヲ買入レ高ク之ヲ公衆ニ再賣スルモノナリ而シテ顯ニ仲人ヲ用ユルニ於テハ資本家中ニ競争ヲ惹起シ市場相當ノ價格ヲ以テ証書ヲ發行スルヲ得ヘク且募集スヘキ高ハ必ス之ヲ得ルヲ得ヘク仲人ヲ用ヒサルニ於テモ實際ハ矢張仲人アリテ決シテ公債ノ一大部分ヲ直接ニ公衆ニ散布スルヲ得ス資本家ハ皆証書ヲ廉價ニ買フヲ以テ利トスレハ或ハ相討ツヲ以テ殊更ニ之ヲ安クスルヲナキヲ保セス果シテ然ハ政府ハ損ント欲スルノ者ヲ惠ミ自ラ損失ヲ蒙ラサルヲ得サルナリ而シテ若シ公債拂込ハ正貨ヲ以テ之ヲナスモノトシ流通紙幣若クハ証書ヲ以テ拂込ヲナスヲ許サス或ハ其損ント欲スル高ヨリ數倍ヲ申込マサ

五一三

レハ之ヲ得ルヲ能ハサル(無減少ノ法ヲ行ハ此不便ナシ)等ノ事アレハ公衆ハ直接ニ政府ノ募集ニ應スル事ハ少ナク之ヲ銀行等ヨリ購入スルノ容易ナルヲ喜フ者多カルヘシ然ルニ銀行等ハ巨額ノ証書ヲ一纏ニシテ政府ヨリ直ニ買入ルコトヲ得且ツ貨幣取扱ハ其職トスル所ナレハ少々ノ手數ハ決シテ之ヲ意ニ介セス公衆ニ於テモ數十人若クハ數百人組合ヲナシ其一人ヲシテ拂込事務ニ從事セシメハ大ニ手數ヲ省クヘシト雖公衆ニ此ノ如キ組合ヲ立ルハ甚々六ヶ敷ナレハ直接發行ニ於テモ銀行家等カ初メ發行高ノ大部ヲ取ルハ實ニ怪シムニ足ラサルナリ千八百七十五年全七十六年ノ巴里府ノ公債募集ノ時ニハ現ニ公衆ハ當初募集ニ應セス后八分若クハ一割丈平價以上ニテ証書ヲ銀行等ヨリ買入シテ數百萬フランニ昇レリト云フ

以上說ク所ノ者ヲ以テ見レハ直接發行ノ方法便ナラサルヲ知ルニ足



六一三

ルヘシ今其要領ヲ陳述セシニ

第一此方法ハ証書ヲ安ク賣出サ、ルヲ得サルノ恐アリ

第二投機者流ノ結合ヲ助ケ真正ノ貯蓄者ノ爲メニ便ナラス(仲人ヲ用

ユレハ仲人モ幾分手ハ必ス速ニ賣却スルヲ要スレハ彼等モ高ク之

ヲ賣ル事能ハサルヘシ)

第三此方法ニ從ヘハ証書ノ一大部分カ真正ノ貯蓄者ノ手ニ落ル事甚

ク遅シ如何トナレハ投機自在ナレハ久シク証書ノ市場ニ迷フ事多

ク無減少法ヲ行ハサル以上ハ投機申込多クレハナリ

千八百十八年王政回復ノ時曾テ此法ニテ公債ヲ起シ一億九千八百万

「フラン」ヲ拾五回ノ申込ニテ募集セシニ之ニ應セシ高三拾二億六千万

「フラン」ニ昇レリ是レ佛國ノ資本今日ノ如ク裕ナラサリ當時ニ於テ

ハ實ニ非常ノ巨額ト云ツヘシ然ルニ此申込タル重ニ投機ニ基クモノ

ニシテ申込通ニ拂込ヲナスコトナク非常ノ不都合アリシ故ニ爾后此方  
法ニテ公債ヲ起ストノ誓ヲ立テ千八百五十四年迄ハ佛國政府復之ヲ  
試ミキリシ

直接發行ノ方法ハ斯ノ如ク種々ノ不便アレハ之ヲ實施スルコト國家經

濟上ニ於テ宜シキヲ得タルモノト云ヒ難シ然ラハ即チ何チ以テ手之

ニ代フ余輩ヲ以テ之ヲ見レハ銀行家中最モ高ク証書ヲ引受ル者ヲ撰

ヒ之ヲ仲人トスルノ方法ハ遙ニ直接發行ニ勝ルモノアリ若シ政府一

時ニ現金ヲ需用スルカ如キ場合ニ於テハ之ニ添ルニ公衆ニ一時拂込

ノ証書ヲ發行スルモ決シテ妨ナカルヘシ然レモ大工事ヲ起スカ如キ

場合ニ於テ政府一時ニ巨額ヲ要セス漸次金員ヲ要スルカ如キ場合ニ

於テハ單ニ銀行組合ノ最高ク証書ヲ引受ル者ヲ仲人トシテ間接發行

ヲナシテ敢テ實際ノ不便ナカルヘシ

七一三



右ニ説ク所ノ者ノ外尙ホ間接發行ト高價發行トノ法ヲ併用スル事亦  
 難キニ非サルヘシ果シテ然ラハ政府ハ其要スル所ノ高ハ必ス之ヲ得  
 ルコトヲ得ヘク真正ノ貯蓄者ニモ便利ナルヘシ請フ今其方法ヲ零陳  
 セン政府先ツ募集スヘキ高ト利子歩合期限等総テ公債ニ係ル緊要ナ  
 ル點并ニ証書ノ最下價格ヲ定メ銀行組合ニ其拂込ヲ請負ハシメ全時  
 ニ此最下点以上ニテ証書ヲ購入スル者ニハ銀行者一般公衆ヲ問ハス  
 無減少ノ免許ヲ與フレハ資本家ニ於テハ其利ヲ專有スルコト能ハス  
 真正ノ貯蓄者ハ無減少ノ利ヲ得ヘク政府ニ於テ募集セント欲スル高  
 丈ハ最下点ニテ必ス之ヲ得ルヲ期スルヲ得ヘク且証書モ高ク發行ス  
 ルコトヲ得彼是大ニ利スル所アラン千八百七十五年ノ初メオーグ  
 ラ  
 ンド府ノ公債ヲ「ユニオン」銀行ニ於テ發行セリ當時「オーグ  
 ラ  
 ンド」府ハ六分利付ニテ二百五十萬「フラン」ノ公債ヲ起サントセシニ申

込高ハ一千二百五十萬「フラン」ニ昇レリ而シテ最下点ヲ九七四分ノ三  
 ト定メ此点ニテ申込シ者ニハ申込高ノ五割ヲ付與シ九八以上ニテ申  
 込シ者ニハ其至高ヲ與ヘ最下点以下ノ者ニハ一切証書ヲ交付セキ  
 シ全年巴里府ノ公債モ四四五ヲ最下点トシ此点ニテ申込シ者ニハ其  
 幾分ヲ付與シ四五〇ニテ申込シ者ニハ全額ヲ與ヘリ實ニ此方法ハ資  
 本家ヲシテ公債募集ノコトニ預ラシメ全時ニ投機者流ノ奸計ヲ防ク  
 コトヲ得レハ實ニ採川スヘキノ方法ナリ右ノ外此方法ニ據テ發行セ  
 シ例ナキニ非ス千八百七十八年南潑斯地利ノ政府モ此方法ニ據テ五  
 拾五「ポンド」ノ公債ヲ起セリ此ノ公債ハ五分利付ニシテ申込高ハ百拾  
 三萬七千「ポンド」ニ昇レリ而シテ九拾五「ポンド」六「シリンク」以上ニテ申  
 込シ者ニハ其金額九拾五「ポンド」五「シリンク」六「ペンス」ニテ申込シ者ニ  
 ハ其三分ノ一ヲ付與シ其ヨリ以下ニテ申込シ者ニハ全ク証書ヲ交付



セサリシ人或ハ云ハン此方法ハ便ハ即チ便ナリト雖之ヲ小額ノ募集  
 ニ用ユヘタ巨大ノ募集ニハ或ハ煩雜ノ憂アラシク其或ハ然ラシク然レハ  
 此方法ヲ用ユレハ公債實收額ハ必ス單ニ最下点ヲ定テ其募集ヲ仲人  
 ニ委任スルヨリ多シ只ニ翻手ノ勞ヲ厭テ大利ヲ忘ル、ハ施政ノ意ヲ  
 得タルモノニ非サルナリ然リト雖實地家ノ中ニハ全種ノ公債証券ニ  
 於テ價格ノ差違アルヲ以テ之ヲ不公平ナリトシ高價ヲ以テ証券ヲ買  
 入ント欲スル者ヘモ發行價格ハ一樣ニシテ証券ノ額面ヲ増シ之ニ無  
 減少ノ權理ヲ與フヘシト論スル者ナシトセス然レハ若シ之ヲナセハ  
 政府債却ニ當テ巨額ヲ拂出サ、ルチ應募者ト雖初ヨリノ條約ナレハ  
 決シテ不滿ヲ抱クコト能ハサルヘシ譬ハ千八百七十五年ノ巴里府ノ  
 公債ヲ起スニ際シ巴里府ハ今這ノ公債ハ四分ノ利ヲ付シ抽籤ヲ以テ  
 五百フランニテ債却スヘシ發行ノ最下点ハ四百四拾フランニシテ是

ヨリ以下ニテハ証券ヲ發行セス若シ是ヨリ以上ニテ証券ヲ得ント欲  
 スル者アレハ此者ニハ先取ノ權ヲ與フヘシ若シ申込高募集スヘキ額  
 ニ超過スル事アルトモ最下点以上ニテ申込ミシ者ニハ無減少免許ヲ  
 與フヘシト定レハ此趣旨ヲ承知ノ上ニテ証券ヲ買入ル、者ニハ決レ  
 テ不公平ナルコトナカルヘシ又斯ノ如クシテ全種ノ公債証券ノ價格  
 ニ於テ差違アラハ或ハ貨幣市場ノ紛亂ヲ生スヘシトノ懸念モアリト  
 雖是レ杞憂ノミ決テ患フルニ足ラサルナリ請少シク之ヲ弁セン實驗  
 上ヲ以テ之ヲ論スルニ最下点以上ニテ買入ル、者ハ重ニ真正ナル貯  
 蓄家ニテ投機者流ニ非ラス隨テ其額モ少ク又同市場ニ同時ニ同種ノ  
 公債ニ異價ヲ生スルナカルヘシ由是觀之ハ直接發行ト高價發行ノ法  
 ヲ併用スルハ互ノ長ヲ取り互ノ短ヲ補フヲ得政府ニ於テモ公衆ニ  
 於テモ共ニ便利ナルヤ明カナリ世人新シキ方法ノ利ヲ知ルニ鋭敏ナ



ラス未タ廣ク此方法ヲ用ユルニ至ラス然リト雖不便最モ甚シキ者ハ之ヲ悟ル亦容易ナレハ輒近直接發行ノ方法ヲ用ル事甚稀ニシテ仲人ヲ用フルノ利ヲ見出セシニ似タリ而シテ此新方法ハ大平ノ時土木等ヲ起ス爲メニ最適當ナルモノナリ如何トナレハ此類ノ業ニハ一時ニ巨額ヲ要スルコトナク漸次ニ資金ヲ要スルニ由リ一時資本家ヨリ巨額ヲ領收スルヲ要スルコトナク自然真正ナル貯蓄家ノ數回ニ拂込ムコトヲ許スコト容易ナレハナリ

政府此新法ヲ用ルニ當リテ仲人ヲ用ユルト用ヒサルハ勿論其好ニ從フヘシト雖政府若レ十分ニ信用ヲ有セサレハ仲人ヲ用ヒ之ヲシテ内外ノ資本家ヨリ金員ヲ募集セシムルヲ便トス如何トナレハ世人ハ此仲人ヲ信用シテ聊カ高價ニ證書ヲ買入ル、コトアレハナリ斯ノ如ク銀行家カ募集ノ依頼ニ應スル事アレハ彼等ハ政府所要ノ幾分ハ自ラ

之ヲ買入レ其價ハ幾分平廉價ナリ三分或ハ四分利付ナラハ通例六三位ナリ其他ハ高キ割合ニテ譬ハ六五ニテ證書ヲ發行スルコトヲ引受ルナリ斯ノ如ク政府ト約條ヲ定メ請負仲人ハ内外ノ貨幣市場ト條約ヲナレ先ヅ自ラ買入レシ者ヲ賣却シ后政府ヨリ直接ニ發行スル者ヲ賣出スル通例トス千八百七十七年中曾テ公ニ證書ヲ政府ヨリ競賣セシコトナク巨額ノ四分利付ノ墾地利及六分利付ノ洪高利公債證書ヲ歐洲大陸殊ニ巴里貨幣市場ニ賣出セシハ此方法ニ由ルモノナリ若シ政府ノ信用甚々厚ケレハ仲人ヲ用ユルヲ要セサルヘシ佛國ノ千八百七十八年ノ三分利付期限拂ノ公債ノ募集ノ如キ敢テ仲人ヲ用ヒス直接ニ巴里貨幣市場ニ於テ賣出シ或ハ收納官長ニ於テ直ニ請求者ニ證書ヲ賣渡セリ又大藏省ヨリ少々ノ低價ヲ以テ銀行組合ニ賣渡セシコトアリ是レ此ノ方法中ノ異例ナリ然リト雖此方法ハ當時



四二三

甚ク新規ニシテ且其証書ノ種類モ在來ノ者ト違ヒ十分ニ公衆ノ需要ニ適合セス十分ノ功ヲ奏セサリシト雖大平ノ時ニ非常ニ巨大ナラサル公債ヲ起ス時ニハ政府直接ニ貨幣市場ニ公債ヲ賣出シ其出納局出張所或ハ爲替方等ノ各地方ニ散在セル者ヲシテ証書發行セシムレハ政府ニシテ信用厚ク公債証書ノ種類公衆ノ熟知スル者ナル以上ハ総テ仲人ヲ用ユルノ費用ヲ要セス投機ヲ獎勵スル事ナク公衆ヲシテ其實際需要スルヨリ大ナル高ヲ申込マシムルヲ要セス募集ハ國中一般ニ行キ渡ル故ニ急ニ証書ノ供給ヲ一市場ニ増加スルコトナク其利益實ニ甚カラズ彼佛國ノ千八百七十八年ノ三分利付期限拂ノ公衆ノ望ニ適セサリシハ餘リニ新規ヲ望ミシノ弊ニシテ未ダ以テ罪ヲ此方法ニ歸スルコト能ハサルナリ

公債証書發行ニ種々ノ方法アルハ既ニ之ヲ論セリ故ニ今一步ヲ進メ

五二三

テ諸國ニ於テ實際何レノ方法ヲ用ヒ來リシヤヲ陳述セン先ツ公債ノ大將ナル英國ヲ以テ其端緒ヲ開カン英國ニ於テハ第十七世紀中及第十八世紀ノ初ニハ重ニ直接發行ノ法ヲ用ヒ一般公衆ヨリ金員ヲ募レリ政府ハ先ツ利子歩合發行格價等總テ公債ニ要々ナル廉々ヲ議定シ国立銀行ヲシテ一切其事務ヲ引受ケシメタリ然レモ該行ハ決シテ公債ノ幾分ヲ引受ルカ又ハ其全額ノ募集方ヲ請負フカ如キ仲人ニ非ス只ニ政府ノ出納局國債局ノ如キ役ヲ勤メテ國債事務ヲ擔當セシノミ第十八世紀中殊ニ「ウキルヤムビット」ノ時ニハ仲人ヲ使用スルノ法ヲ用ヒ國中ノ銀行家ノ最モ高ク証書ヲ引受クル者ニ請負ハシメ銀行家ノ或者ハ政府ノ爲メニ其要スル所ノ高ク繰替置キ証書ノ請取り損得ハ自ラ負擔シテ之ヲ再賣セリ大藏卿ハ先ツ日ヲ定テ諸銀行家ノ意見ヲ問ヒ最モ高ク請負フ者ニ証書ヲ付與セリ是レ即チ銀行家中ニ入札



ナナカシムルモノナリ此等ノ公債募集ハ公ニ諸銀行ト條約シ其高札  
 ノ者ニ請負シメ國會ニ於テ之ヲ承認シ非常ニ公平ナル處分ヲ受ケタ  
 リ其内例外ノモノハ千七百九十六年ノ公平國債ト稱スル者ト千八百  
 十三年ノ公債ナリシ第一ノ者ハ國立銀行ニ於テ發行ヲ舉行シ第二ノ  
 者ハ其前ノ公債募集ニ應セシ者ニ先取權ヲ與ヘタリ  
 第十八世紀迄佛國々債ハ巨大ノ額ニ達セス其發行方法ト雖隨テ見ル  
 ヘキモノナキヨ由リ該國公債發行ノ事ニ付テハ只千八百十六年以來  
 ノ事ヲ陳述セン王政回復ノ間大ナル國債ヲ起スコト前後八回其内千  
 八百十六年ヨリシテ全十七年迄ニ起セシ者ハ銀行家ニ其發行ヲ請負  
 シメ内外ノ需要者ヲシテ出金セシメタリ千八百十八年ノ一億九千八  
 百萬フランノ公債ハ直接發行法ニヨリシト雖十分ニ功ヲ奏セス其他  
 四回ハ銀行家中ノ最高價ニテ引受ル者ニ請負ハシメタリ當時初メヨ

リ最高價ニテ引受ル者ニ請負シメサリシハ大乱ノ后政府ノ信用未ダ  
 厚カラス大ナル資本家ノ助ヲ要セシヨ由リ一般ニ資本家ノ中ニ競争  
 ヲ起サシムルコト能ハサリシニ由ルナリ故ニ發行價格モ甚低ク五分  
 利付コシテ五十二フラン五十三サンチム乃至六十七フランニテ發  
 行セリ故ニ該公債發行ノ價格ノ低カリシハ其發行方法ニノミ由ルニ  
 非ラス佛國當時ノ景況大ニ預ル所アルニ由ルナリ王政回復ノ時ノ最  
 后ノ三公債ハ最高價ニテ請負ヒ大ニ満足ナル結果ヲ生セリ此三公債  
 ハ千八百二十一年全二十三年全三十年ニ於テ募集セラレタリ就中千  
 八百二十三年ノ公債ハ四億一千三百九十八萬フランニ昇リ當時ニ取  
 テハ非常ノ巨額ト云ハサルヲ得ス而シテ其發行方法タル高價引受ニ  
 シテ一銀行ニ於テ之ヲ請負ヘリ實ニ是レ最高價請負ノ方法ハ巨大ノ  
 公債ニテモ施行シ能フノ一証ナリ千八百三十年ノ者ハ小額ノ公債ニ



八二三

「價」ハ八千万「フラン」ニ昇レリ此公債ハ有名ナル「ロスナルド」家ニ於テ  
 最高價ニ引受ケ四分利付ニテ發行價格ハ平價以上即チ百二「フラン」七  
 「サンチーム」平ニ昇レリ佛國公債ノ平價以上ニテ發行サレシ者ハ只ニ  
 此公債アルノミ是實ニ公債發行ノ最モ満足ナルモノト謂ハサルヲ得  
 ス如何トナレハ政府ハ借入レシ高ヨリ少ナキ高ヲ拂ヒ負債ヲ弁償シ  
 得レハナリ「ルイ、フイリツプ」ノ時即チ千八百三十二年ニモ殆ント平價  
 即チ五分利付ノ者ヲ九十八「フラン」五十「サンチーム」ニテ發行セリ由是  
 觀之ハ政府ハ發行價格ヲ減少シテ實際ノ借入高ヨリ多クノ高ヲ償却  
 スルヲ要セス此方法ニヨリテハ平價ニテ發行スル事ヲ得ルハ敢テ疑  
 ヲ容ルコト能ハサルナリ「ルイ、フイリツプ」ノ世ニ佛國政府ハ前后六回  
 ノ大國債ヲ起セリ此等ノ公債ハ千八百三十一年（此公債ハ全ク功ヲ奏  
 セサリシ）ノ者ノ外餘テ最高價請負ノ法ニ由テ發行シ非常ニ政府ノ爲

メニ都合ヨク千八百四十四年ノ公債ノ如キハ三分利付ニシテ八十四  
 「フラン」七十五「サンチーム」ニテ發行セラレタリ此等ノ例ヲ以テ見レハ  
 最高價請負ノ方法ハ大ニ發行者ノ爲メニ便利ナルモノト云ハサルヲ  
 得ス

九二三

千八百四十八年ノ革命政府ニテハ愛國々債ノ舉行アリシト雖其功ヲ  
 奏セス其他強迫塊集アリシノミニテ通常ノ公債ヲ起スノ舉アラサリ  
 シ「ナポレオン」第三世ノ世ニハ公債ハ重ニ直接發行ノ方法ニテ發行セ  
 ラレタリ而シテ其發行價格ハ随分低カリシ故ニ實際ノ利子歩合ハ隨  
 テ高カリシ勿論第二帝政ノ世ニ於テハ佛國ノ景況ハ「ルイ、フイリツプ」  
 ノ時ノ如ク信用厚カラサル故ニ利子歩合モ高カラサルヲ得サリ第  
 二帝政ノ世ニ於テハ公債ヲ起ス事モ屢々ニシテ「ルイ、フイリツプ」ノ時  
 ノ如ク償却シカメサリシ「ルイ、フイリツプ」ノ世ニ於テハ政府銳意償却



ニ注意セシ故ニ彼ノ三分利公債ノ如キハ非常ノ高價ニテ募集スルコトヲ得タリ(發行價格ト償却價格ノ差異ヲ得レハナリ)今茲ニルイ、フイリツプノ時ノ發行價格トナポレオン第三世ノ時トノ發行價格トナ比較セント欲スレトモ之ヲナサントスレハ事冗長ニ及フヲ以テ單ニ此所ニテハ此二ノ時期ニ起セシ公債ノ發行價格ノ差違ハ平面ノ差異ニシテ眞正ノ者ニ非サル所以ヲ陳述セシルイ、フイリツプノ世ニハ重ニ最高價請負ノ方法ニテ公債ヲ起セシ故ニ發行費用ハ請負者ノ負擔スル所トナルコトアリテ發行價格(証製造費ハ政府ヨリ拂フテ通例トス)ハ實際政府ノ受取リシ高ヲ示ス然ルニ直接發行ニ於テハ發行費用ハ募集金ヨリ支出スルコトアレハ發行價格ヨリ之ヲ引去ラサレハ政府ノ純受取高ヲ示サス故ニ只ニ利子歩合及發行價格ノヨリヲ以テ某公債ハ政府ニ利ナリ某公債ハ不利ナリト云ヒ難シ而シテ發行費用ハ決シテ

輕視スヘキモノニ非サルナリ(マン氏千八百七十三年佛國理財ノ景況表ヲ作リ其内ニ公債發行費用ヲモ掲載セリ今全氏ノ表ニ就テ見ルニ千八百七十年八月ノ公債ハ八億四百五十七万二千フランノ實收ナリシニ其費用ハ六百六十二万三千三百七十三フラン七十五サンチムナリシ是凡ソ一銖ノ四分ノ三ノ割合ナリ彼ノ二十億ノ公債ト稱スル者ニ於テハ費用更ニ大ナリシ此公債ハ實收額二十二億二千五百九十九万四千四十五フランニ昇リ其發行費用ハ八千二百六十七万千九百九十六フラン三十八サンチムナリシ實ニ是凡ソ三銖ト四分ノ三ノ割合ナリ彼ノ三十億ノ公債ハ實額三十四億九千八百七十四万四千六百三十九フランニ達シ費用ハ八千四百七十三万九千三百四十三フラン三十四サンチムニナリシ故ニ凡ソ二銖二分ノ一ノ割合ナリ此二ノ公債ハ普ニ債金ヲ仕拂フ爲メニ起セシ者ニシテ乱后ニ舉行セシニ由リ



或ハ政府ノ爲メニ適當ノ費用ヲ要セシト雖其費用ノ多キハ亦發行方  
 法ノ預ル所多シト云ツヘシ(千八百七十九年四月當時大藏卿レヲソ、セ  
 イ氏ノ國會ニ報告スル所ニモレハ二十億ノ公債ノ發行費ハ一分一厘  
 七毛三十億ノ公債ノ者ハ一分一厘八毛千八百七十八年ノ期限拂三分  
 ノ利付ノ者ハ百フランニ付十七サンチムナリシト然レモセイ氏ハ  
 証書ノ用紙代印刷代發行事務ニ從事スル役員ノ手當金等ハ計算セサ  
 リシコ似タリ而シテ又直接發行ハ非常ノ投機ヲ惹起シ其極度ニ達ス  
 ル者ト云フト雖敢テ過言ニ非サルヘシ今請フ少シク之ヲ陳述セン佛  
 國千八百六十八年ノ公債ハ申込高募集スヘキ高ノ三十倍ニ達シ彼三  
 十億ノ公債募集ノ時ハ十三倍ニ昇リ其他葡萄牙國魯國ニ於テ政府ノ公  
 債募集ノ時并ニ會社ノ負債証書ヲ發行スル時ニハ申込高募集スヘキ  
 高ノ百倍ニ昇リシト一ニシテ足ラス則チ魯國ニ於テ「ファストウオ」及

「ラレンホルグ」間ノ鐵道會社一千十萬ルーブル「則チ凡ソ四千萬フラン」  
 ノ負債証書ヲ發行セシキニハ申込高募集ス可キ高ノ四十倍ニ達シ千  
 八百七十四年「ウイスチユール」及「ウーラル」間ノ鐵道會社千三百四十二  
 萬二千ルーブルノ負債証書ヲ發行セシキハ申込高百倍ニ達セリ全年  
 四月葡萄牙政府鐵道建築ノ爲メニ國債ヲ起セシ時モ全様ノ結果ヲ得ヌ  
 リ然ルニ是等ノ申込ニハ真正ノ貯蓄家ハ甚少シ重ニ巨大ノ資本ヲ有  
 スル者ナリ思フニ直接發行ハ公私ヲ問ハス公衆ノ募集ニ應セザラン  
 「トチ恐レ証書ノ價格ヲ低フスルヲ以テ斯ノ如キ非常ノ申込ヲナス者  
 ナラン是等ノ証書ノ外天下ニ資本ノ使用スルヲ得ヘキ者ナキニ非ラ  
 ス然ルニ是ヲ捨テ彼ヲ取ル固ヨリ利益ヲキテ得サルナリ  
 茲ニ又一問題アリ政府公債ヲ起スニ際シ巨額ノ金員ヲ一時ニ募集ス  
 ヘキヤ又ハ其目下需要スル分ノミヲ時々募集スヘキヤノ問題はナリ若



四三三

シ公債ヲ起スノ事業ニシテ時々ノ募集ヲナシテ其目的ヲ達スルヲ得ルナレハ無論第二ノ方法ニ據ラサルヲ得ス若シ一時ニ巨額ノ公債ヲ募集セントスレハ國中ノ流通資本果シテ之ニ應スルヲ得ヘキヤ良シ之ニ應スルヲ得ルト雖一時巨額ヲ募集スレハ貨幣數日若クハ數週間國庫内ニ潜伏セサルヲ以テ急ニ世ノ流通資本ヲ減少スルヲ多クシテ非常ノ困難ヲ惹起スヤ敢テ疑テ容ル、フ能ハサルナリ故ニ政府ハ勢ノ万止ムヲ得サルニ非ラスノハ目下ノ需要高ヲ募集シ其殘額拂込ニ間違ノ生セサル方法ヲ設クルヲ要ス若シ之ヲ爲スヲ得ハ政府敢テ用ヲ缺クノ憂ナク爲メニ人民ノ貯蓄心ヲ獎勵シ彼是レ大ニ利スル處アルヘシ工事ノ爲メニ起ス所ノ公債ハ無論入用丈ヲ募集スルヲ以テ良シトス何トナレハ若シ數年ニ渉ル工事ノ爲メニ起ス公債ヲ一時ニ募集スレハ數年ノ間流通資本國庫中ニ潜伏シ全ク其効用ヲナサス

五三三

或ハ其間ニ一時他費用ノ爲メニ流用セラレ后大ニ不都合ヲ生スル事ナキヲ保セサレハナリ然リト雖政府ハ其需要スル所ノ全額ヲ得ルノ方法ヲ設ケサルヲ得ス之ヲ爲スニハ成丈第一ノ拂込即チ國債取扱上保証拂込ト号ル者ヲ大ニ拂込ノ皆濟セサル内ニ証書下落シ曩ノ拂込ヲ打捨后ノ拂込ヲナサ、ル様ノ事起ラサル様ニ注意セサルヲ得ス而レテ非常ノ事故アルニアラスシテ后ノ拂込ヲナサ、ル時ハ政府ハ三十日若クハ六十日ノ日限ヲ定テ之ヲ經過シテ尙ホ支拂ハサルモノハ前ヨリ拂込レ高ヲ沒收スルト定ムルモ敢テ妨ナカルヘシ或ハ前額ノ仕拂ヲ銀行等ノ請負者ニ請負セ漸次入用丈ヲ徵集スルヲ得ヘシ時トシテ政府公衆ニ爲換手形ノ如キ賣買シ得ヘキ証書ヲ以テ公債ノ拂込ヲ許ス事アリ此方法ヲ主張スル者ノ説ニ曰ク此類ノ証書ヲ以テ拂込ヲ許サハ其所有主ヲシテ一時ニ巨額ノ手形類ヲ市場ニ提出スル



六三三

「ヲ免レシメ大ニ其價格ヲ落サシムルノ憂ナク又此方ハ巨額ノ通貨  
 ナ一時ニ引揚ルヲナク世ノ流通資本ヲ非常ニ減少スルヲナキテ以テ  
 大ニ便利ナルヘシト是等ノ論決シテ一理ナキニ非サルナリ然リト雖  
 若シ此方法ヲ用ヒハ申込高ニ層増加シ巨額ヲ取扱フヲ要シ殊ニ手形  
 等ノ首尾ヲ政府自ラナキ、ルヲ得テ募集ノ費用大ニ増加スヘク其内  
 空手形又ハ不十分ナル手形等アリテ不渡トナル者ナキヲ保シ難ク大  
 ニ政府ノ爲メニ不便ニシテ且ツ之カ爲メニ或ハ不正ノ手形ヲ製スル  
 「ナキト云ヒ難ク巨万ノ手形ノ内ニハ必ス不十分ナル者アリ而シテ  
 政府ノ後人ハ手形取扱ニ價レズ大ニ奸商ノ手段ニ陥ルノ恐アリ一々  
 之ヲ購ブレハ費用多シ銀行家等ナシテ之ヲ鑑定セシムルモ必ス手數  
 料ヲ要ス故ニ此方法ハ便ニ似テ大ニ然ラズ甚ク以テ恐ルヘキノ性質  
 ナ有スレハ可成ニ避クヘキノ方法ナリ而シテ此方法ヲ行ヘハ決シテ

七三三

眞正ノ貯蓄ハ初メヨリ証書ヲ得ルヲ能ハサルヘシ何トナレハ彼等ハ  
 此類ノ手形ヲ有セス投機者流ハ之ヲ有スルヲ多ケレハナリ今又保証  
 拂込ノ事ヲ陳述セン千八百五十四年ヨリ同六十九年マテニ起セン公  
 債ニハ保証拂ハ債主ヨリ政府ヘ拂込高ノ一割ナリシ千七百七十年八月  
 ノ公債ハ二割ナリシ是レ當時兵乱ニ際スルコヨルナルヘシ彼ノ二十  
 億公債ノ募集ニハ一割四分半ナリシ此公債ニハ發行價格ハ凡ソ八十  
 二「フラン」五「十」サ「ンチ」ムナリシ故ニ此高ニ對シテ凡ソ十二「フラン」ナ  
 リシ三十億ノ公債ニハ一割七分發行價格ハ八十四「フラン」五「十」サ「ンチ」  
 ムナリシヲ以テ此高ニ對シテハ凡ソ十四「フラン」五「十」サ「ンチ」ムナ  
 リシ佛國ニ於テ保証拂入ノ高甚ク輕シ是レ佛國政府ハ外面ヲ飾ルノ  
 弊アリテ公債ノ申込高ヲ増スヲ目的トスルニ由ルモノニシテ實ニ是  
 無用ノ事ナリ保証拂込ヲシテ餘リ輕カラシメハ己ニ陳述セン道理ニ



國ハ公債ノ拂込ノ度数ヲ餘リニ多クスル弊アリ實ニ拂込ノ度数ヲ適  
 度ニ分ツハ大ニ債主ノ爲メニ便利ナルヘシト雖餘リ分テ過スハ却テ  
 公衆ヲ煩ハスノ實アリ今佛國ノ例ヲ陳述センコト千八百七十年ノ「マン」  
 ノ戰爭公債ノ拂込度数ハ八回ナリシ之ヲ最少トシ彼三十億「フラン」公  
 債ノ拂込度数ハ二十一回ニシテ之ヲ最大トス彼二十億及三十億「フラ  
 ン」ノ公債ヲ起ストキハ兵乱ノ后ニシテ貯蓄ヲナスノ猶豫ヲ與フル爲  
 メニ斯ノ如ク度数ヲ分チシト謂レナキコト非ラスト雖大平無事ノ時ニ  
 於テ十回以上ノ分チナキコト非ス即チ千八百六十四年ノ三億千五百万  
 「フラン」ノ公債募集ノトキニハ十回千八百六十八年ノ四億五千万「フラ  
 ン」ノ募集ニハ十八回ニ分チテリ故ニ千八百六十八年ノ公債ハ申込高非  
 常ニ多ク百五十億「フラン」ニ達セリ實ニ是レ政府ノ借入ント欲スル高

ノ殆ント三十二倍ナリ其他千八百五十四年ノ二億五千「フラン」ニハ十  
 八回千八百五十五年全五十九年ノモノハ各々十回ナリシ  
 右ニ述フル所ノモノハ不都合ハ則チ不都合ナリト雖未ダ以テ非常ニ  
 意トスルニ足ラサルヘシ然レモ方今國債募集ニ於テ各國政府ニ於テ  
 實施スル所ノ者ノ中甚ダ宜シキヲ得サル者アリ是他ニ非ラス彼等國  
 債ヲ起スニ當リ初ノ一年若シクハ十八ヶ月ノ間ノ利子并ヒニ募集費  
 用ハ募集金ヲ以テ所弁スルコト是ナリ若シ國債ノ原因兵乱騷擾等ニ  
 テ突然年度中ニ起リ當該年度ノ豫算編製后ノ事ナレハ實ニ己ムヲ得  
 サルノ事ナレモ大平無事ノ時ニ起ス國債ニ於テハ豫メ之レカ備チナ  
 サルヲ得ス然ラサレハ國債ノ額現ニ事業ノ爲メニ要スル者ヨリ多  
 カルヘク后世ノ人民天利ヲ負擔スル事更ニ多カルヘシ試ミニ一個人  
 チ以テ之ヲ論センニ今茲ニ人アリ一業ノ爲メニ六分ニテ二千圓ヲ借



○四三

リ初年ニ於テ儉約若クハ勉強ヲ以テ利子ヲ仕拂ハス更ニ百二十圓ヲ借入レテ其利子ヲ拂ハ、世人之レヲ目シテ彼ハ理財ニ長スト云ハシ乎決シテ然ラス彼ハ不注意甚シキ者ナリト云ハシ政府ニ於テモ斯ノ如キ方法ヲ以テ其財政ヲナスモノアラハ必ス之ヲ不注意ト云ハサルヲ得サルナリ然リト雖是レ各國ノ往々實施スル所ノ方法ナリ故ニ國債ノ高ハ政府ニ於テ其目的ノ爲メニ要スル所ノ高ヨリ多ク其初一年若クハ十八ヶ月ノ利子并ニ募集費用ヲ加ヘタルモノニシテ國債ニ正副アリト云テ妨ナカルヘシ今佛國ノ實例ヲ以テ之ヲ証セン彼ノ「ソリミヤ」戰爭ノ終リニ當テ起セシ七億五千萬フランノ公債ハ實際ハ此副公債ヲ加テ七億七千九百五十万フランニ達シ伊太利ノ役ノ爲メニ起セシ五億フランノ公債ハ五億千九百六十六万七万フランニ達シ千八百七十年戰爭ノ爲メニ「マン」氏ノ起シシ七億五千万フランノ者ハ八億

一四三

四百万フランニ達シ彼ノ二十億フランノ公債ハ二十二億二千五百九十万フランニ達シ三十億ノ者ハ三十四億九千八百万フランニ達セリ此三十億ノ副四億九千八百万フランハ悉皆該公債ノ利子及募集費用ニ使用セラレス幾分手拂戻サレシト雖之レカ爲メニ國債總額ヲ増セシヤ決シテ疑ヲ容ル、コト能ハサルナリ勿論國債ノ中彼ノ千八百七十年ノ者ノ如ク騒乱ノ中ニ之ヲ募集セシ場合ニ於テハ或ハ己ヲ得サルヘシト雖政府タル者國債ヲ起スニ當テ其利子募集費ノ爲メニ其高ヲ増加セサルコト力メ或ハ非常ノ節縮ヲ用ヒ或ハ稅額ヲ増スヲ計ルヘシ徒ニ國債ノ額ヲ増加シ後世ノ負擔ヲ増加スヘカラス其他又平價以下ニテ發行スルノ風俗アレハ國債ノ名目高ハ遙ニ實收高ヨリ多シ今試ニ彼ノ二十億フラント稱スル國債ニ付テ之ヲ論ゼンニ其副都ヲ合テ二十二億二千五百九十万フランニ至レリ然ルニ此國債ハ遙ニ平



三四三

價以下ニテ發行セシ故ニ實際此類ヲ得ルニ更ニ証書ヲ發行スルコトヲ要シ此公債ノ名目高ハ二十六億九千八百七十四萬六千六百フランノ多キニ達セリ故ニ佛國政府二十億ノ金高ヲ得ント欲シ二十六億九千八百七十四萬六千六百フランノ公債ヲ起シ后世ニ其丈ノ元利ヲ仕拂フノ義務ヲ殘ス者ナリ彼二十億ハ實ニ己ヲ得ス然レモ彼ノ六億九千八百萬フラン餘ハ募集ノ當時ニ於テ少ク注意セハ大ニ減少シ得ヘク或ハ殆ント之ヲ起スヲ要セサリシモノナリ公債ノ額名實大ニ符合セサル者ト云フヘシ

國債ヲ起スニ當テ無謀ニ之ヲ起スニ非ス必ヤ其募集ノ時ニ當テ元利仕拂ノ方法ヲ豫期セサルヲ得ス或ハ特別ノ租稅ヲ以テ之レニ充ルアリ或ハ一般歳入ノ内幾分ヲ割テ之レニ充ルアリ諸國ニ於テ實施スル所各差アリ其國ニ於テ往時ハ各種ノ公債償却ノ爲メニ特別ノ稅ヲ宛

三四三

タリ茲ニ於テ公債ヲ公ノ「フォンド」ト號スル事トナレリ后大ニ塊集ノ法ヲ行ヒ塊集シテ一種類内ニ集メシ者ヲ指テ「エンソリテット」ト云フ「ハ其略語ナリ」ト唱フルコトナレリ然リト雖方今公債ノ事ハ一般ニ公ノ「フォンド」ト云フ此言葉ハ我國ノ財政上基金ト云フ語ニ當ルナリ其變用ノ起ル所ハ「ハミルトン」氏ノ英國々債史ニ審ナリ全氏曰ク「フォンド」ナル言葉ハ元來或特別ナル事ニ宛タル金員又ハ歳入ノ部分ト云フ事ニシテ歳入中國債償却ノ基本トシテ特ニ振向ケアル金高ノ事ヲ云フナリ然ルニ方今一般人民カ「フォンド」ト云フトキハ政府ノ借入レ巨大ノ額ヲ指テ云フ即チ政府カ其歳入ヲ以テ年々利子ヲ仕拂フ國債ナリ而シテ公債証書ヲ買フモノハ金員ヲ公ノ「フォンド」ニ入ル、ト云フ初メ英政府カ國債ヲ處スル所ノ方法ヲ定メシトキニハ特別基金ノ方法ヲ用ヒ某稅ヲ以テ某公債ノ利子仕拂ニ宛テ彼是濫用ヲ許サ



四四三

ス某税ニ餘裕アリト雖某税ノ欲ヲ補フヲ能ハス非常ノ不便ヲ蒙ル且  
ツ國債ノ種類漸ク増加シ混雜亦尠カラサリシ故ニ「ユーツレット」平利  
條約后千七百十五年彼等ノ數基金ヲ塊集シ一ノ基金ヲ設ケ次ノ年南  
海會社ノ基金及一般ノ基金ヲ設立セリ后總テノ基金ヲ集メ之ヲ「ソ  
ソリデーテット」フオンド「即チ塊集基金ト名付タリ然ルニ其名ト」ト稱  
延テ此基金ヲ以テ保証セラレタル公債ニ及ヒ之ヲ「コンソリデーテツ  
スル事トナレリ

斯ノ如ク歳入ノ幾分ヲ割テ國債元利仕拂ニ宛シハ立法者ヲシテ常ニ  
之ヲ重スルノ風ヲ養生シ新ニ公債ヲ起サントスルトキニハ必ス其元  
利仕拂ノ方法ヲ定ムヘキ夫以テ大ニ便利ナルカ如シト雖信用厚ク日  
々進歩ニ趨ク國柄ニ於テハ只ニ一般歳入ヨリ幾分乎年々ノ豫算ヲ以  
テ之ニ宛テ別ニ基金ヲ置カス歳入殘餘又ハ當該年度ノ特別收入ニシ

五四三

テ他年ニ望ミ能フヘカラサルモノヲ以テ國債償却ニ充ルヲ以テ足レ  
リトス如何トナレハ別ニ基金ヲ置ハ其レカ爲メニ勘定ヲ煩雜ニシ且  
ツ斯ノ如キ國ニ於テ利子ヲ拂ヒ能ハサルト云フカ如キ「ナシ」公債証  
書ハ人民ノ貯蓄ノ爲メニ大ニ需要セラル、ニ由リ決シテ急遽ニ之ヲ償  
却スルヲ要セサレハナリ而シテ債主ニ於テ必ス政府ヲシテ此基金ヨ  
リ其負債ヲ拂ハシムルノ權理ナク財政困難ナルトキハ政府ハ基金ヲ  
他ノ費用ニ使用シ得レハ基金ノ保証モ甚不安忒ナルモノナリト云ツ  
ヘシ土耳其埃及「チューニス」等ノ如キ貧國ニ貸付ル時ハ或ハ  
其歳入ノ幾分或ハ其產物ノ幾分ヲ抵當トスルカ如キ「ハ要々ナル」  
ナルニ似タリト雖是又彼ノ抵當物ヲ債主ノ手ニ取り居ルニ非サレハ  
無効ニ屬シ彼ノ「ペル」ノ「グワ」ノ抵當土耳其ノ「アナトリ」ノ羊其他  
ノ歳入ノ抵當ノ如キモ全ク無効ニ屬セリ到底此等ノ抵當物ハ債主ノ



三四六

手ニ止メ置クヲ能ハサル性質ノ者ニシテ政府ハ其身代限ノ裁判ヲ仰クノ法庭ヲ有セス身代限リハ自ラ裁判官トナリテ之ヲナスニヨリ政府若シ信ヲ重ンセス或ハ財政困難ニ陥ラハ此等ノ抵當ハ無効ニ屬スヘキナリ信用ヲ重シ財政裕ナル政府ヨリハ抵當ヲ取ルヲ要セス故ニ斯ノ如キノ保証ハ或ハ外面ノ修飾トナルヘケレトモ實効ハ格別ナキ者ナリ只外國政府ニ貸付ル時彼ノ元利ヲ拂ハサル時ハ其抵當トシタル土地ヲ直ニ押領スヘシトノ約ヲナシ置カハ或ハ都合ヨキ事モアラソ然レモ是レモ随分費用多キ貸金取返シノ方法トナルノ恐アレハ實際ハ矢張無効ノ事ナラン



三手ニ止メ置クヲ能ハサル性質ノ者ニシテ政府ハ其身代限ノ裁判ヲ仰  
六四三  
クノ法庭ヲ有セス身代限リハ自ラ裁判官トナリテ之ヲナスニヨリ政  
府若シ信ヲ重ンセス或ハ財政困難ニ陥ラハ此等ノ抵當ハ無効ニ屬ス  
ヘキナリ信用ヲ重シ財政裕ナル政府ヨリハ抵當ヲ取ルヲ要セス故ニ  
斯ノ如キノ保証ハ或ハ外面ノ修飾トナルヘケレトモ實効ハ格別ナキ  
者ナリ只外國政府ニ貸付ル時彼ノ元利ヲ拂ハサル時ハ其抵當トシタ  
ル土地ヲ直ニ押領スヘシトノ約ヲナシ置カハ或ハ都合ヨキ事モアラ  
ン然レモ是レモ随分費用多キ貸金取返シノ方法トナルノ恐アレハ實  
際ハ矢張無効ノ事タラン

國債論卷之四終

明治十九年十二月廿三日版權免許  
全二十年一月 出版

定價金四拾錢

講述兼出版人

鹿兒嶋縣士族

田尻 稻次郎

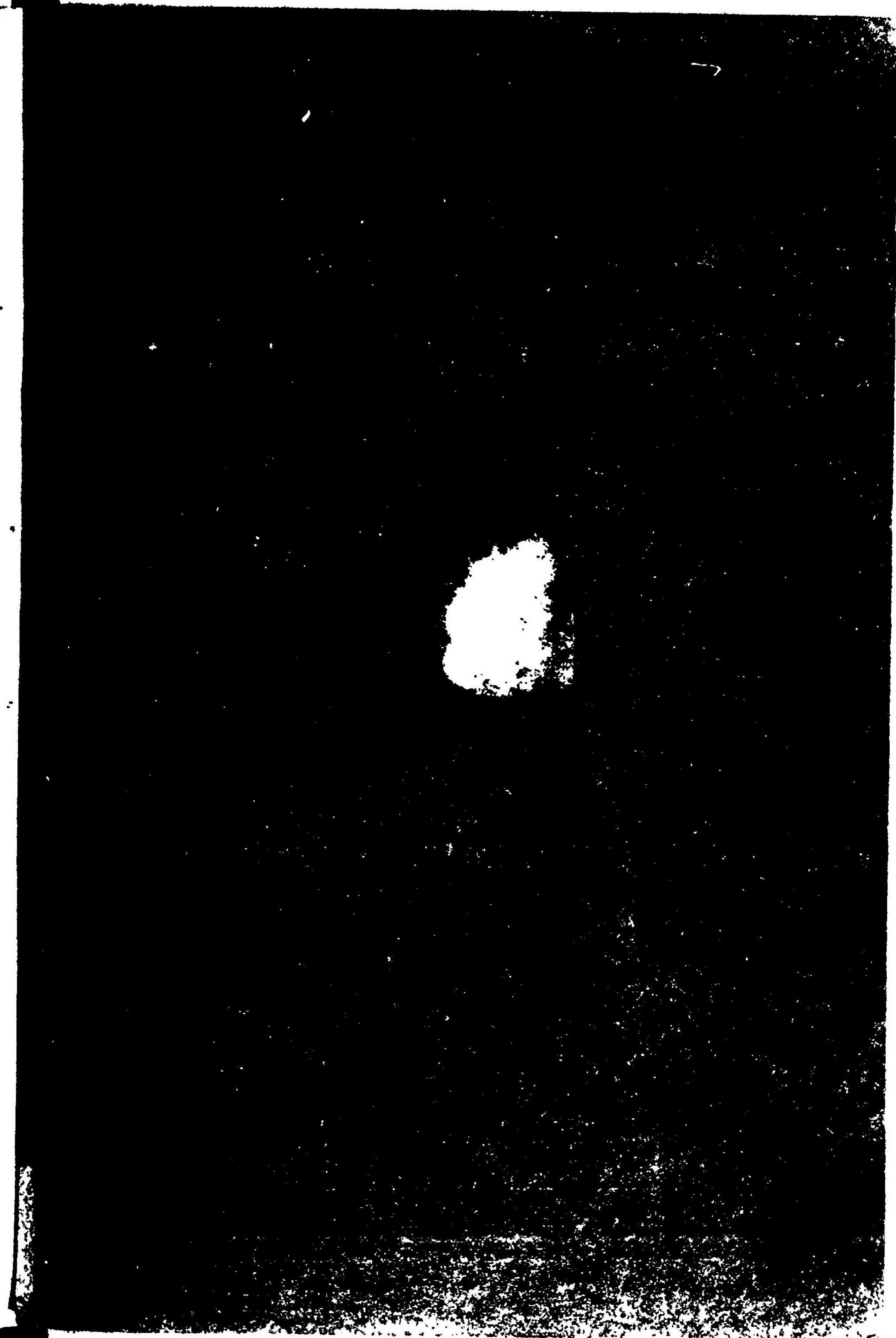
小石川區金富町  
四十六番地

發 兌

專 修 學 校

神田區今川小路  
貳丁目八番地

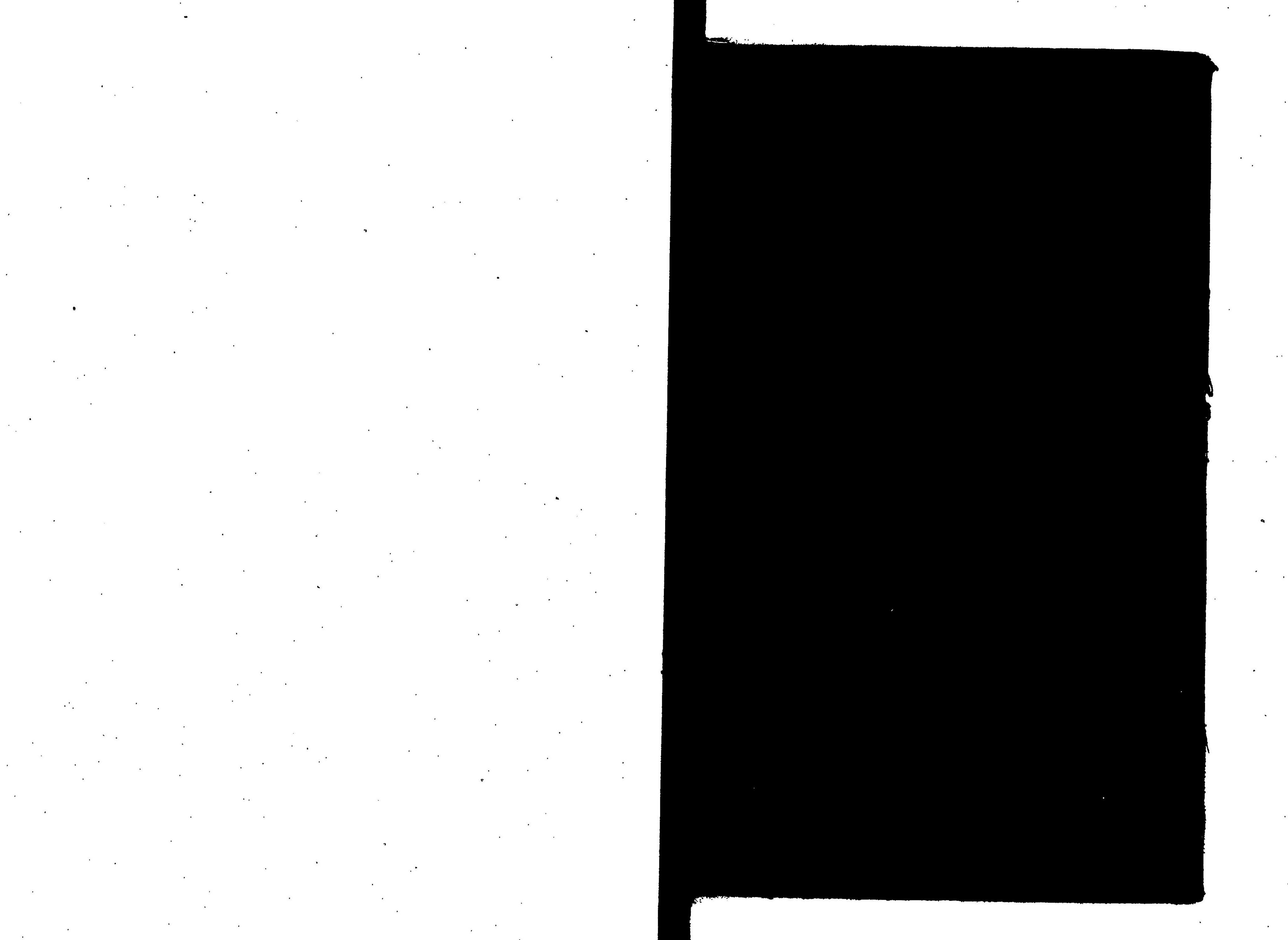






33  
188







040537-000-8

33-188

国債論

ルロア・ボリユー／著

M20.1

BDE-0159





